

建て待

—— でんち・でんちプラス ——

—— でんちE・でんちプラスE ——

設計ガイド

目次

1	屋根寸法確認	P2
2	屋根材選定	P6
3	システム構成・必要な図示図面	P17
4	標準採用モジュール、太陽光ケーブルの 引込位置、配管について	P22
5	パワーコンディショナ・ 蓄電池設置基準について	P25
6	分電盤周辺について	P37
7	工事の流れ	P41
	屋外配管時の留意点	P44
	ビルダー様へのお願い	P45

・上記の図示があることで現場監督様の業務負荷が低減できますので、ご協力をお願いします。

・発電量や消費量はお客様のスマートフォン、タブレット、パソコン等でご確認いただく仕様です。

・上棟7日前以降の変更は有償となる場合がございます。

※有償で再工事となる場合がございますので、変更が生じる場合は上棟7日前までに連絡をお願いします

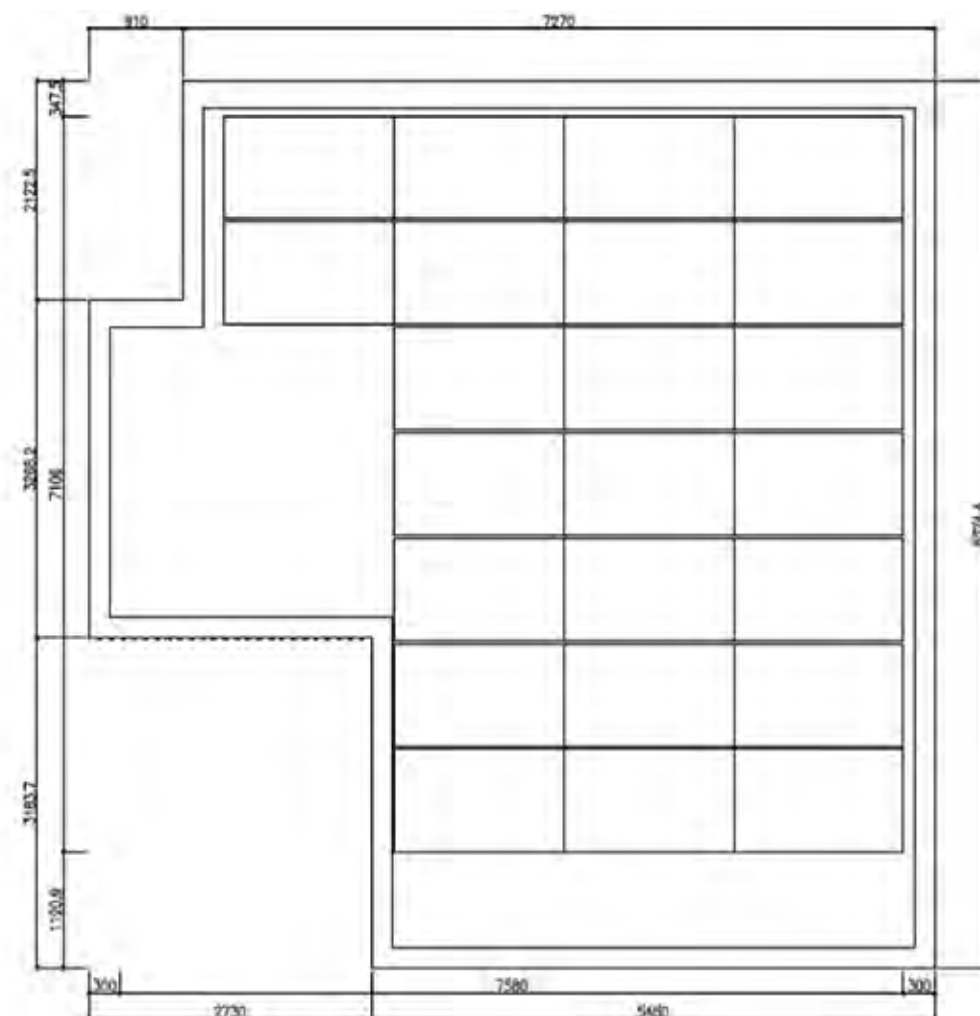
設計ガイド

屋根寸法確認 編

1

屋根の寸法内で太陽光パネルの設置寸法が
納まっていることをご確認ください

1. 屋根面の寸法・屋根材のご確認をお願いします。



物件の屋根野地寸法を基に、LIXILで太陽光パネルの配置図が提出されております。
受注連絡票と一緒に送付して頂く太陽光パネルの割付図(上図)を**決定図面**として上
代見積書に記載された部材明細にて**お施主様とご契約致します**。従いまして**必ず屋根
面の寸法が太陽光割付図のレイアウトに適合することをご確認ください**。

LIXILよりパネル割付図をご提出した後に、建物プラン、軒の出寸法の変更があって、野
地面のサイズが変わった場合や屋根材が変更になった場合は**再度LIXILに割付依頼を
し、PV図面・見積書・変更建築図面・ZEH誓約書をLTSPに送付ください**。

※軒先に雪止めを設置される場合は太陽光パネルに干渉しないかを必ず確認してください。現場で干渉
することが判明した場合は、撤去のお願いをする場合がございます。またパネルと屋根材の雪止めが近
接する場合は屋根側での雪止め効果は薄い為、弊社の雪止め材利用をお願いします。尚、弊社雪止め
材ご利用の場合は必ずLIXILへの割付図作成依頼時点でお伝えください。

※万が一工事時点で屋根寸法屋根材違いや、雪止め材干渉等が発生した場合には、ビルダー様に別途
費用請求をしますので、ご注意ください。

太陽光発電システム

商品名：ソーラーラック、ラックレスタイプ

概要：設置基準遵守のお願い

LIXILより
設置基準遵守のお願い

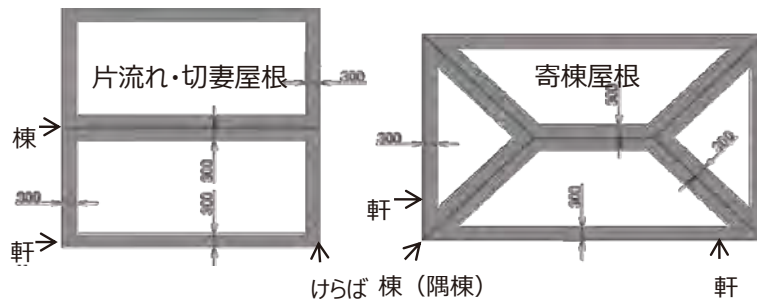
当社の太陽光システムについて、お見積り時にご提示いただいた建築情報との差異により、当社の設置基準を満たしていないことがご採用の前後または工事段階に発覚することがあります。これによりPVモジュール搭載量の変更や見積りの変更、最悪の場合は設置不可ということになり、お施主様とのトラブルに繋がりますので、改めて設置基準の遵守をお願い申し上げます。以下は過去の事例になりますので、ご留意くださいようお願い申し上げます。

■過去の事例

●屋根端部から太陽光アレイまでの離隔が300mm以上取れていないケース

屋根端部から離隔300mmを確保することは、公的な太陽光架台の設計荷重算出方法にて定められている重要な条件です。当社ではこれを基に設置基準を定め、各種安全面における評価を行っており、かつ当社基準に従って施工されているお客様に対しシステム保証を発行しています。上記理由につき、離隔距離を順守する為下記事項をお願い申し上げます。

【設置基準】



■・・・設置不可範囲

※建て得で瓦屋根の場合は、離隔が500mm以上必要です。併せてご注意ください。

1. 建築図面で屋根の寸法変更があった場合は、速やかに当社担当営業までご連絡の上、搭載容量の変更有無を確認してください。
2. 建築図面で屋根の寸法変更があった場合は、搭載容量が変更（建て得においてはメニューが建て得バリューから建て得ライフへの変更等を含みます。）になることをご理解、ご承諾ください。
3. 建築図面と現場で仕上げる屋根寸法は精度が必要であることを、工事者様へご周知いただき、屋根の仕上がり寸法を建築図面通りに仕上げていただけますよう働きかけをお願い致します。

なお、上記をご承諾いただけないビルダー様におかれましては、屋根端部からの離隔距離に余裕を持ったPVモジュールの配置にてご提案させていただく場合がありますので予めご了承ください。

●基準風速、設置高さ、屋根勾配、垂直積雪量等を超過するケース

お見積りのご依頼時に建築現場の正確な情報が伝えられず、設置基準を超過しているケースがあります。これにより、使用できる架台の変更（ラックレスタイプからソーラーラックへ）、最悪の場合、設置不可ということになることがあります。建築物の正確な情報をお見積りご依頼時にご提示くださいますようお願い申し上げます。

●海岸線からの距離や都市計画区域外であるかの確認が漏れて地表面粗度区分がⅡとなるケース

太陽光の地表面粗度区分の定義は、建築の地表面粗度区分とは異なります。

以下の場合、地表面粗度区分は「Ⅱ」となりますのでご注意ください。

- ・海岸線・湖岸線（対岸までの距離が1500m以上のものに限る。）からの距離が500m以内である。
- ・都市計画区域外である。

【本件についてのお問合せ】

弊社担当営業までお問い合わせください。

！ 建て得Web申込時のご注意点

利用判定から屋根寸法・屋根勾配が変わるようなプラン変更があった場合は再度、最新図面での利用判定をお申し込みください。

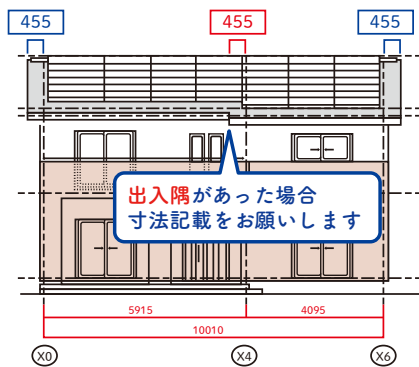
Web申込後、図面の不備により受付がストップするケースが多発しております。不備があった場合、**修正図面の再提出が必要となりご契約の締結が遅れる要因**となります。下記内容をご確認いただき、**必要事項を漏れなく**ご記入の上お申し込みくださいますようお願い申し上げます。

【立面図・平面図に記載いただきたい事項】

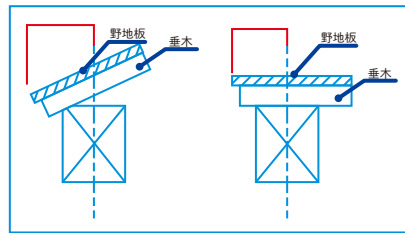
受付時の書類審査で必要な情報です。確定図面をアップロードしてください。

立面図：東西南北の4面が必要です
平面図：全ての階層が必要で

① 軒の出・ケラバの出 立面図に記載をお願いします



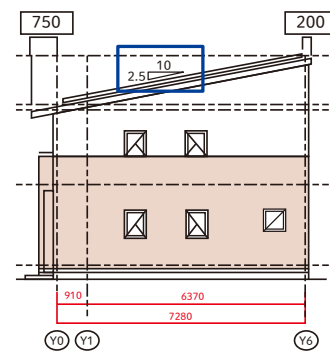
【ご注意ください】
壁芯～野地板先までの寸法の記載をお願いします (拡大図)



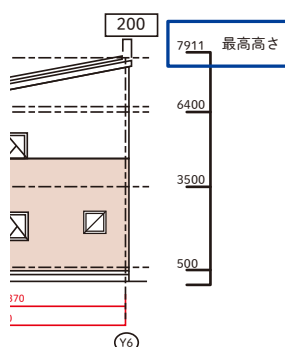
② 方位 平面図もしくは配置図に記載をお願いします



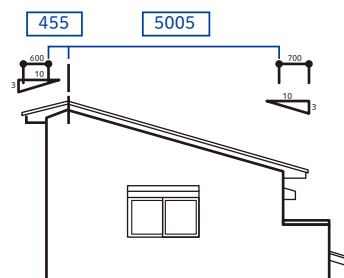
③ 屋根勾配 立面図に記載をお願いします



④ 最高高さ 立面図に記載をお願いします



⑤ 棟木位置 立面図に記載をお願いします



2

建て得で太陽光パネル設置に適用可能な
屋根材、こう配、野地板を選定してください

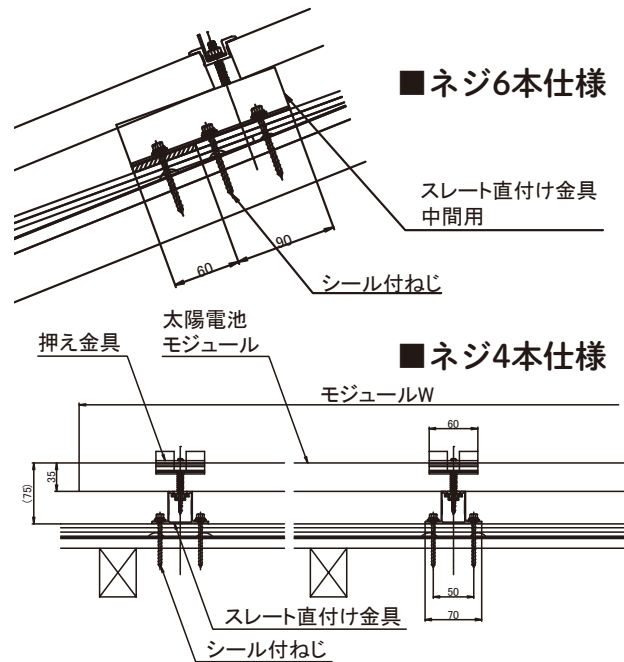
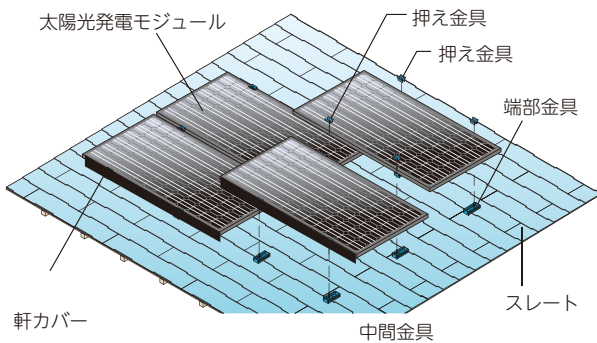
- 2-1. スレート屋根
- 2-2. 縦葺き板金屋根
- 2-3. 瓦棒
- 2-4. 横葺き板金屋根
- 2-5. 瓦
- 2-6. Tルーフ
- 2-7. アスファルトシングル屋根

2-1. スレート屋根の場合の設計基準 【標準工事】

ラックレススレート直付け金具を用いて、モジュールを直接金具で固定します。

標準仕様

ラックレス
スレート直付け金具



スレート材の基準	
厚さ	4.5mm～6mm
働き幅	180mm～182mm

※働き幅が上記以上の場合はソーラーラック

野地板	
構造用合板	12mm以上
OSB	11mm以上 (JAS1～3級)

適応条件	
勾配条件	2.5寸～10寸

※3寸未満の場合は屋根材設置基準(屋根の流れ長さ、片面粘着ルーフィングの使用等)が変わるため屋根材の設置基準を確認して下さい

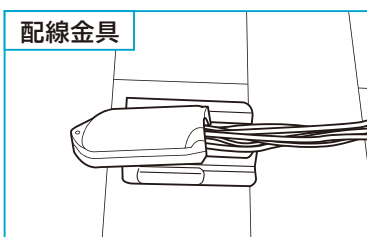
▶ スレート直付け金具を
シール付きビスで留め付けます

▶ 設置条件に合わせ、4本ネジ、6本ネジタイプをご用意



設置可能屋根材	設置不可
コロニアルクアッド コロニアルグラスサ系	スリットありスレート、スペリアルグラスサ プラウドグラスサ系

▶ 配線金具をご利用の場合 (ビルダー様工事)



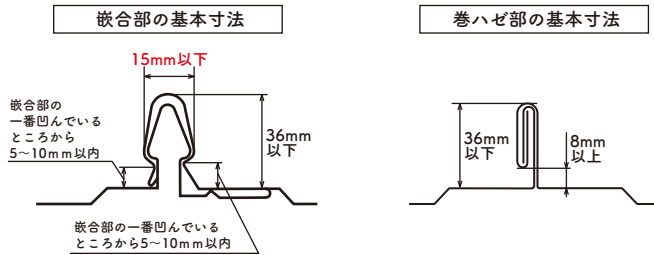
配線金具をご利用の場合はLIXIL太陽光施工IDをお持ちの業者様にて工事が必要です。ビルダー様の責任施工区分にて、野地板の穴あけ止水処理と同時に配線金具の設置を行ってください。配線金具の手配はビルダー様よりLIXIL太陽光認定店へご依頼ください。

2-2. 縦葺き板金屋根の場合の設計基準 【標準工事】

ラックレスタイプ嵌合立平直付金具

標準仕様は屋根に穴を開けずに施工するラックレスです

▶ 下記の条件適合をご確認ください。



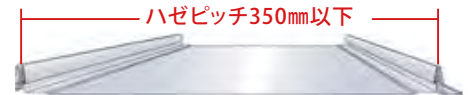
以下のタイプ嵌合立平には設置できません。



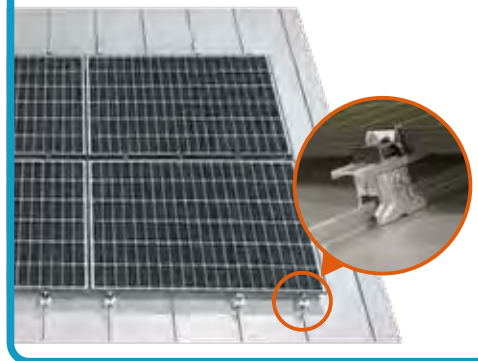
モジュール T、T2 シリーズの場合

適応条件

屋根形状	片流れ・切妻
勾配	0.5寸～5寸



ラックレスは屋根に穴を開けずに設置する工法です



設置高さ7m以下の場合

屋根勾配	粗度区分Ⅲ、Ⅳ					粗度区分Ⅱ				
	基準風速V ₀ [m/s]					基準風速V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

設置高さ7mを超え10m以下の場合

屋根勾配	粗度区分Ⅲ、Ⅳ					粗度区分Ⅱ				
	基準風速V ₀ [m/s]					基準風速V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

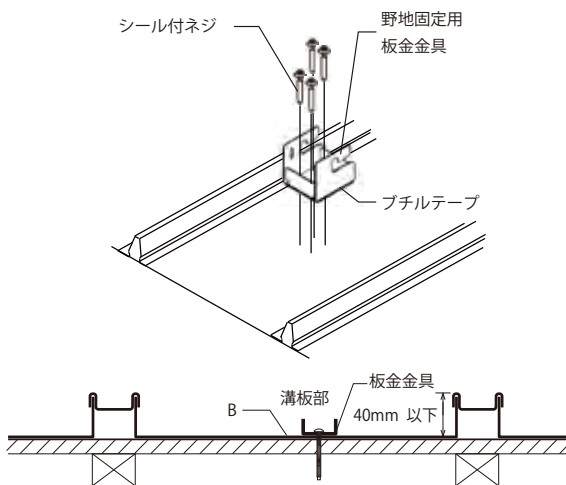
… 設置可 (6点固定) … 設置不可 … 設置高さ7mを超え8m以下に限り設置可

上記ラックレスで対応できない条件の場合のみ、
野地固定用板金金具を活用してソーラーラックで施工します。

【オプション工事】

※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック野地固定用板金金具



ソーラーラックの適応条件

屋根形状	片流れ・切妻・寄棟
勾配	0.5寸～10寸

- … 設置高さ13m以下で設置可 (モジュールサイズ制限なし)
- … 設置高さ8m以下で設置可 (モジュールサイズ制限なし)
- … 設置高さ8m以下およびSサイズモジュールのみで設置可
- … 設置不可

屋根形状：切妻・片流れ

屋根勾配	Ⅲ、Ⅳ					Ⅱ				
	基準風速 V ₀ [m/s]					基準風速 V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
10.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

屋根形状：寄棟

屋根勾配	Ⅲ、Ⅳ					Ⅱ				
	基準風速 V ₀ [m/s]					基準風速 V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
10.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

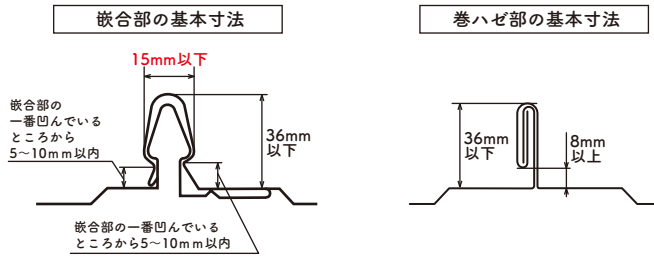
※ラックレスでお申込みいただいた物件が、施工時にソーラーラックでしか対応できない事が判明した場合には、オプション工事有料分の請求をお施主様に、出戻り費用をビルダー様に実費請求させていただきますのでご注意願います。

2-2. 縦葺き板金屋根の場合の設計基準 【標準工事】

ラックレスタイプ嵌合立平直付金具

標準仕様は屋根に穴を開けずに施工するラックレスです

▶ 下記の条件適合をご確認ください。



以下のタイプ嵌合立平には設置できません。



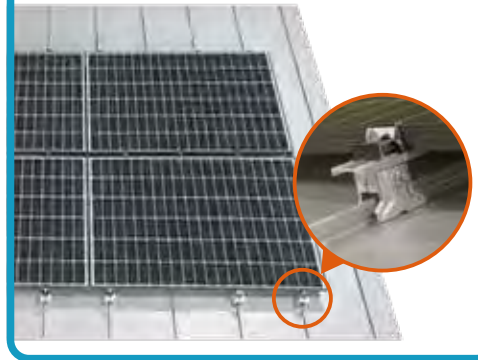
モジュール Rシリーズの場合

適応条件

屋根形状	片流れ・切妻
勾配	0.5寸～5寸



ラックレスは屋根に穴を開けずに設置する工法です



設置高さ7m以下の場合

屋根勾配	粗度区分Ⅲ、Ⅳ					粗度区分Ⅱ				
	基準風速V ₀ [m/s]					基準風速V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

設置高さ7mを超え10m以下の場合

屋根勾配	粗度区分Ⅲ、Ⅳ					粗度区分Ⅱ				
	基準風速V ₀ [m/s]					基準風速V ₀ [m/s]				
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

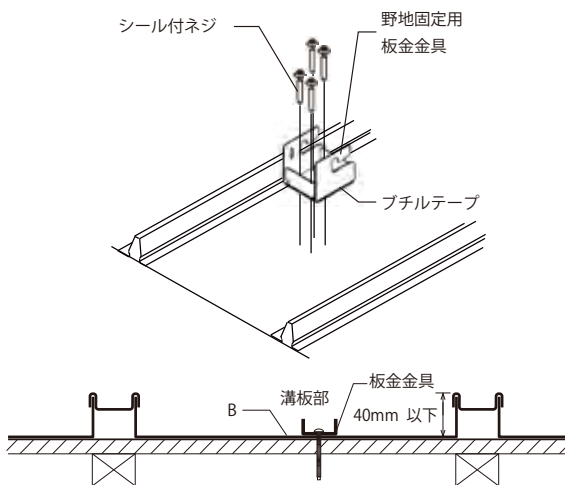
… 設置可 (6点固定) … 設置不可 … 設置高さ7mを超え8m以下に限り設置可

上記ラックレスで対応できない条件の場合のみ、
野地固定用板金金具を活用してソーラーラックで施工します。

【オプション工事】

※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック野地固定用板金金具



ソーラーラックの適応条件

屋根形状	片流れ・切妻・寄棟
勾配	0.5寸～10寸

野地板

構造用合板	12 mm以上
OSB	11 mm以上 (JAS1～3級)

※ラックレスでお申込みいただいた物件が、施工時にソーラーラックでしか対応できない事が判明した場合には、オプション工事有料分の請求をお施主様に、出戻り費用をビルダー様に実費請求させていただきますのでご注意ください。

屋根勾配	粗度区分Ⅲ (片流れ・切妻)					粗度区分Ⅲ (寄棟)					
	基準風速 V ₀ [m/s]					基準風速 V ₀ [m/s]					
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38	40
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
10.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

屋根勾配	粗度区分Ⅱ (片流れ・切妻)					粗度区分Ⅱ (寄棟)					
	基準風速 V ₀ [m/s]					基準風速 V ₀ [m/s]					
	30	32	34	36	38	30	32	34	36	38	40
0.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
1.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
2.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
3.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
4.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
5.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
6.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
7.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
8.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
9.5寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可
10.0寸	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可	設置可

2-3. 瓦棒（板金屋根）の場合の設計基準

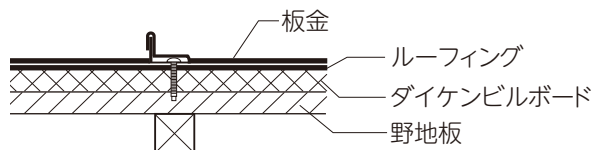
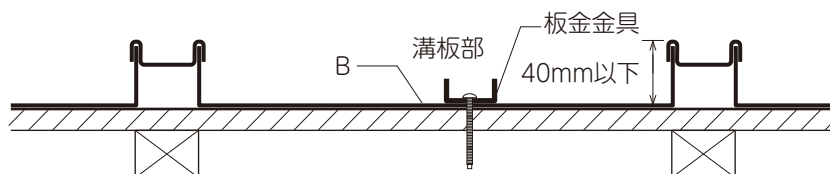
【オプション工事】
（垂直積雪量～50cmのエリア）
※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック野地固定用板金金具 瓦棒心木あり・なし共通

- ▶ 野地固定用板金金具を活用しソーラーラックで施工します。
板金屋根の瓦棒の高さによっては施工できませんので確認をお願いします。

【瓦棒心木なし屋根の一例】

B面:凹凸がなくフラットであること



雨音対策でインシュレーションボードを活用される場合はダイケン社のビルボードのみ対応可

野地板

構造用合板	12 mm以上
OSB	11 mm以上 (JAS1 ～ 3 級)

適応条件

勾配条件	0.5寸～10寸
------	----------

※垂直積雪量50cm超エリアは6寸まで

2-4. 横葺き板金屋根の場合の設計基準

【オプション工事】
 (垂直積雪量～50cmのエリア)
※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック野地固定用板金金具

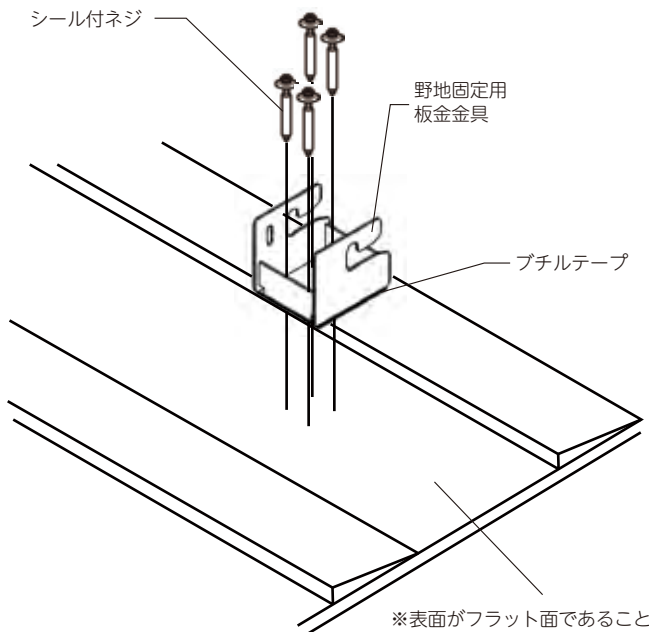
モジュールT、T2シリーズの場合

野地固定用板金金具を活用しソーラーラックで施工します。
 板金屋根の段差の高さによっては施工できませんので
 ご確認をお願いします。

野地固定用板金金具を活用します

適応条件	
屋根形状	片流れ・切妻・寄棟
勾配	3寸～10寸

※垂直積雪量50cm超エリアは6寸まで



野地板	
構造用合板	12 mm以上
OSB	11 mm以上 (JAS1～3級)

- ... 設置高さ13m以下で設置可 (モジュールサイズ制限なし)
- ... 設置高さ8m以下で設置可 (モジュールサイズ制限なし)
- ... 設置高さ8m以下およびSサイズモジュールのみで設置可
- ... 設置不可

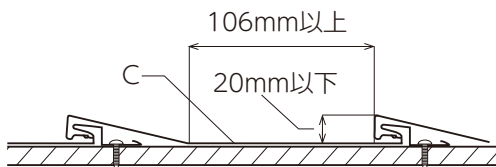
屋根形状：切妻・片流れ

屋根勾配	III, IV						II								
	基準風速 V ₀ [m/s]						基準風速 V ₀ [m/s]								
	30	32	34	36	38	40	30	32	34	36	38	40			
3.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
3.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
4.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
4.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
5.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
5.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
6.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
6.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
7.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
7.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
8.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
8.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
9.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
9.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
10.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄

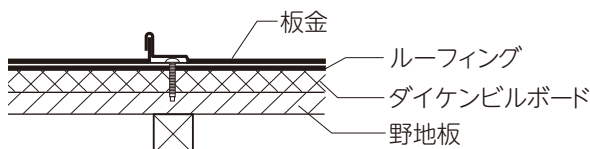
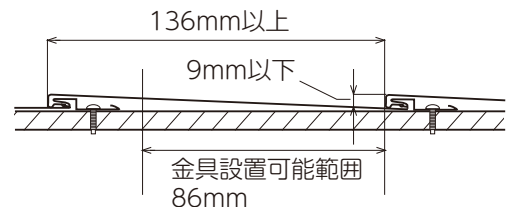
屋根形状：寄棟

屋根勾配	III, IV						II								
	基準風速 V ₀ [m/s]						基準風速 V ₀ [m/s]								
	30	32	34	36	38	40	30	32	34	36	38	40			
3.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
3.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
4.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
4.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
5.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
5.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
6.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
6.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
7.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
7.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
8.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
8.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
9.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
9.5寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄
10.0寸	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄	黄

【段葺きの場合】



【平葺きの場合】



雨音対策でインシュレーションボードを活用される場合はダイケン社のビルボードのみ対応可

2-4. 横葺き板金屋根の場合の設計基準

【オプション工事】
 (垂直積雪量～50cmのエリア)
※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック野地固定用板金金具

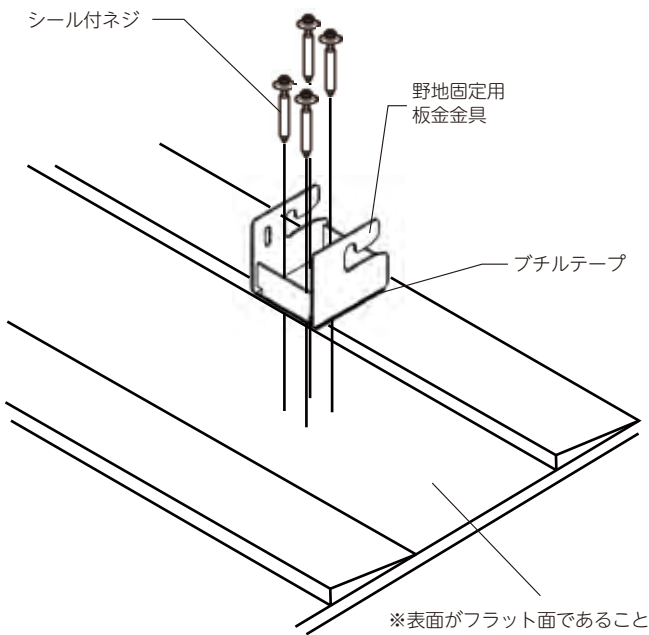
モジュールRシリーズの場合

野地固定用板金金具を活用しソーラーラックで施工します。
 板金屋根の段差の高さによっては施工できませんので
 ご確認をお願いします。

▶ 野地固定用板金金具を活用します

適応条件	
屋根形状	片流れ・切妻・寄棟
勾配	3寸～10寸

※垂直積雪量50cm超エリアは6寸まで



野地板	
構造用合板	12 mm以上
OSB	11 mm以上 (JAS1～3級)

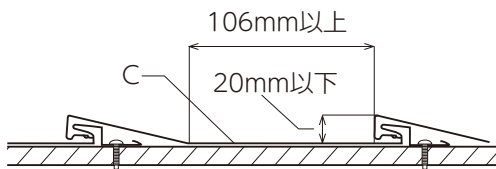
屋根勾配	粗度区分Ⅲ (片流れ・切妻のみ)						粗度区分Ⅲ (寄棟)							
	基準風速 V_0 [m/s]						基準風速 V_0 [m/s]							
	30	32	34	36	38	40	30	32	34	36	38	40		
3.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● …設置可

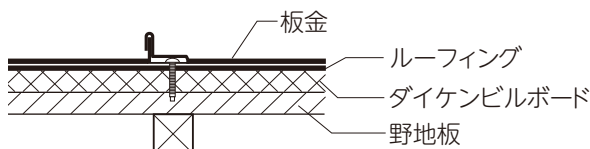
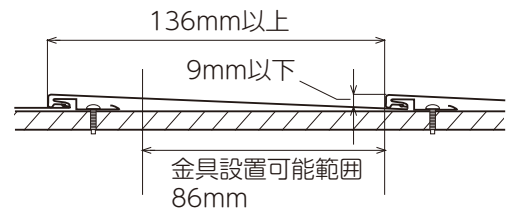
屋根勾配	粗度区分Ⅱ (片流れ・切妻のみ)						粗度区分Ⅱ (寄棟)							
	基準風速 V_0 [m/s]						基準風速 V_0 [m/s]							
	30	32	34	36	38	40	30	32	34	36	38	40		
3.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
4.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
5.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
7.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
9.5寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
10.0寸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● …設置可

【段葺きの場合】



【平葺きの場合】



雨音対策でインシュレーションボードを
 活用される場合はダイケン社のビルボード
 のみ対応可

2-5. 瓦屋根の場合の設計基準

【オプション工事】
(垂直積雪量～50cmのエリア)
※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック支持瓦

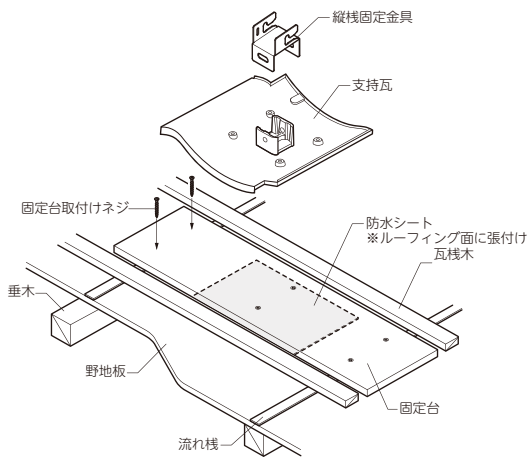
瓦屋根の場合、支持瓦で対応できる屋根材に限り対応します。
対象商品リストからお選びください。

適応条件

勾配条件 3寸～10寸

野地板

構造用合板 9mm以上 OSB 11mm以上 (JAS1～3級)



■部位別の緊結方法

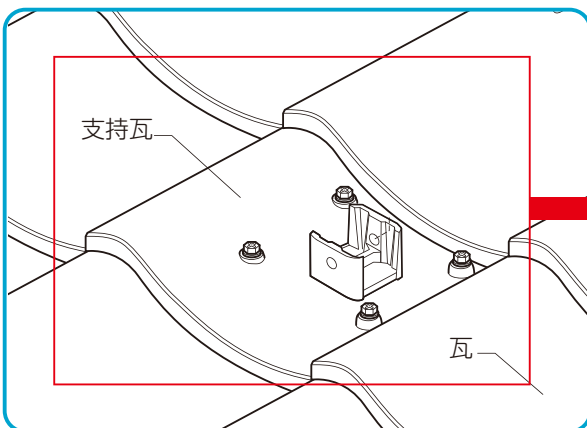
平部 くぎ等で緊結

むね ねじで緊結

軒・けらば
3本のくぎ等
(くぎ又はねじ)
で緊結

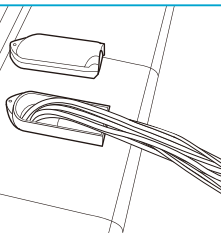
太陽光パネル搭載箇所には調整瓦を使用しないでください。
支持瓦の設置が出来ず割付通りに納まりません。ご注意ください。

平部の瓦はねじ留めではなくくぎ留めに緊結してください(太陽光パネル搭載箇所)。
支持瓦に替える際、取外しが出来ず多くの瓦が割れてしまいます。ご用意頂く予備瓦の枚数も多くなってしまいますので、ご注意ください。



現場で瓦形状に合わせた太陽光の金具付きアルミ瓦に差し替えて施工します。
瓦のタイプによって準備部材が変わりますので、瓦はご契約までに必ずご確定をお願いします。

配線瓦



配線瓦をご利用の場合はLIXIL太陽光施工IDをお持ちの業者様にて工事が必要です。ビルダー様の責任施工区分にて、野地板の穴あけ、止水処理と同時に配線瓦の設置を行ってください。配線瓦の手配はビルダー様よりLIXIL太陽光認定店へご依頼ください。

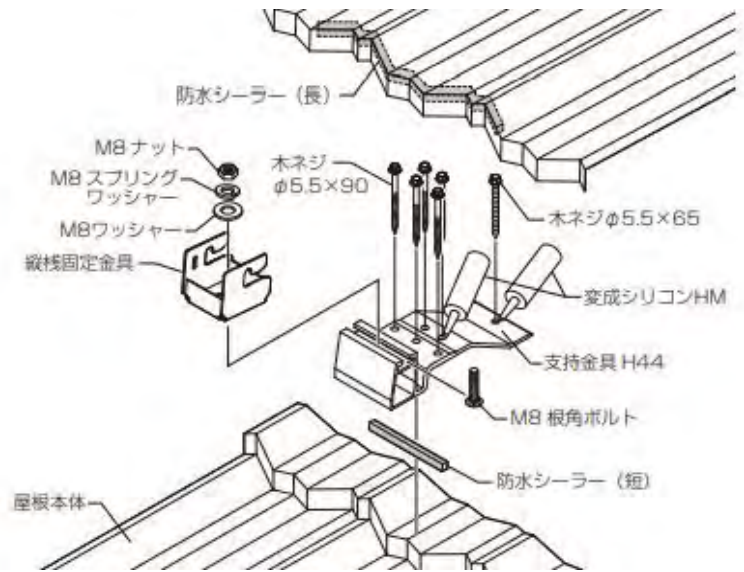
2-6. Tルーフ屋根の場合の設計基準

【オプション工事】
 (垂直積雪量～50cmのエリア)
※有料分はお施主様に請求されます

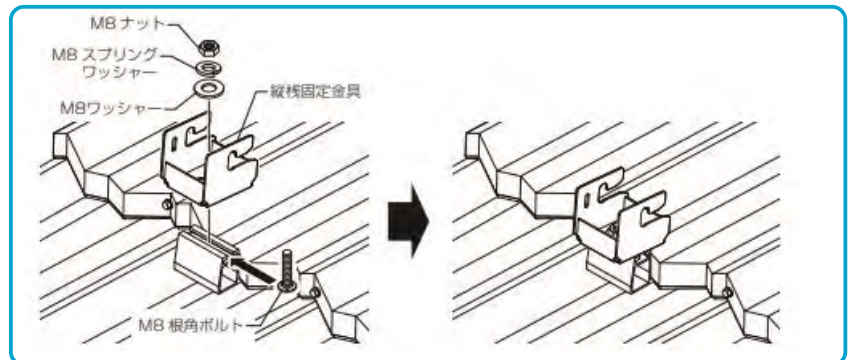
ソーラーラックTルーフ用固定金具

野地板	
構造用合板	12 mm以上
OSB	設置不可

適応条件	
勾配条件	2.5寸～10寸



仕上がり



2-7. アスファルトシングル屋根の場合の設計基準

【オプション工事】
(垂直積雪量～
50cmのエリア)

※有料分はお施主様に請求されます

ソーラーラック垂木固定用板金金具

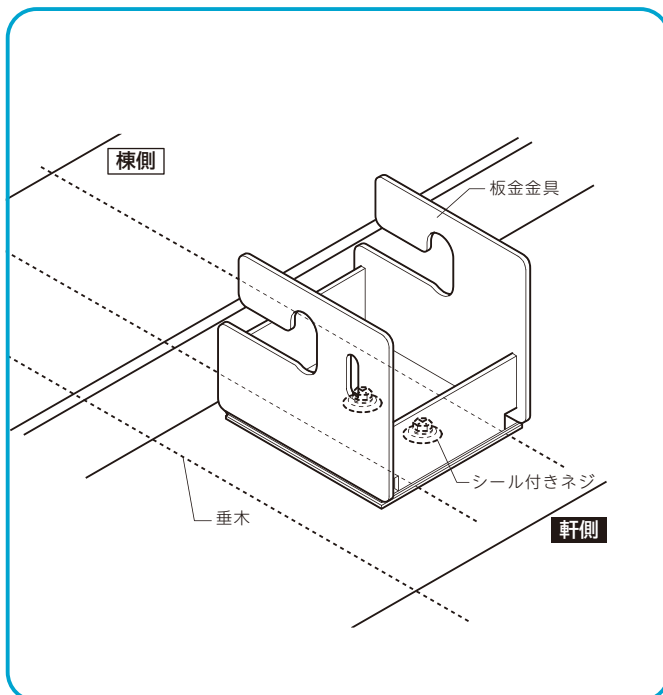
野地板	
構造用合板	9 mm以上
OSB	11 mm以上 (JAS1～3級)

適応条件	
勾配条件	2.5寸～10寸

適用可能なアスファルトシングル材

- ・ロアーニII (田島応用化工)
- ・リッジウェイ (旭ファイバーグラス)
- ・アルマ (ニチハ)
- ・2002年4月発売以降の一般住宅用シングル屋根材

垂木固定用板金金具



ソーラーラックで施工します

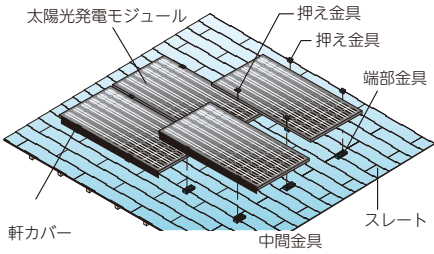
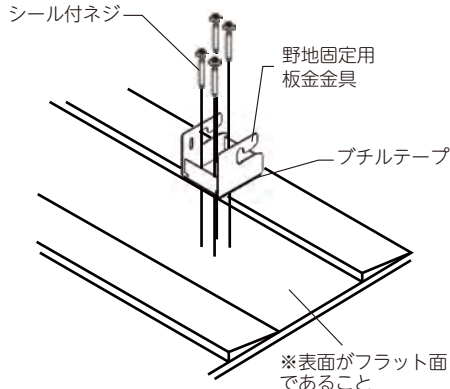
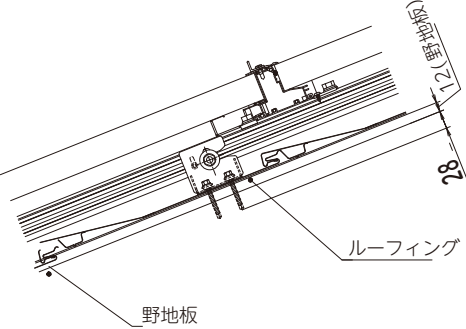


※段差解消に使用するため、予備のシングル材と接着剤を準備願います。

【補足】勾配天井など、化粧天井仕上げへのご配慮のお願い

勾配天井や軒の出、ケラバの出等、化粧仕上げされる天井に太陽光を設置される際は下記のとおり金具を固定するネジが露出しないよう、仕上げにご配慮頂きますようお願い致します。

・各仕様と収まり図

<p>ラックレス</p>	<p>スレート直付け金具</p>		
<p>ソーラーラック</p>	<p>板金野地固定金具</p>		

設計ガイド

システム構築・必要な図示図面 編

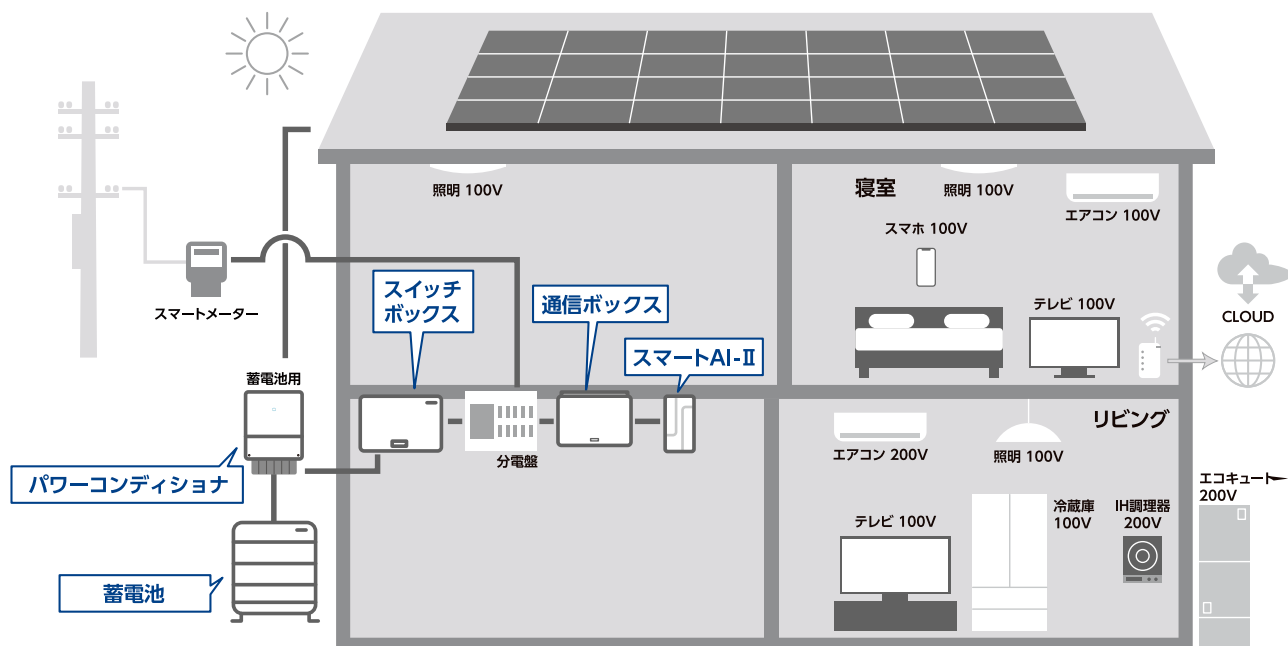
3

設置するシステム構築とご指定いただく
図示図面をご確認ください

3-1. システム構築

3-2. 必要な図示図面

3-1. システム構成(でんち・でんちE)



※インターネット環境が必要です
※必ず固定回線をご準備ください。モバイルWi-FiはNG
※イラストはイメージです



蓄電池



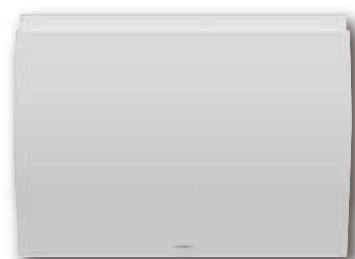
HYB
パワーコンディショナ



スマートAI

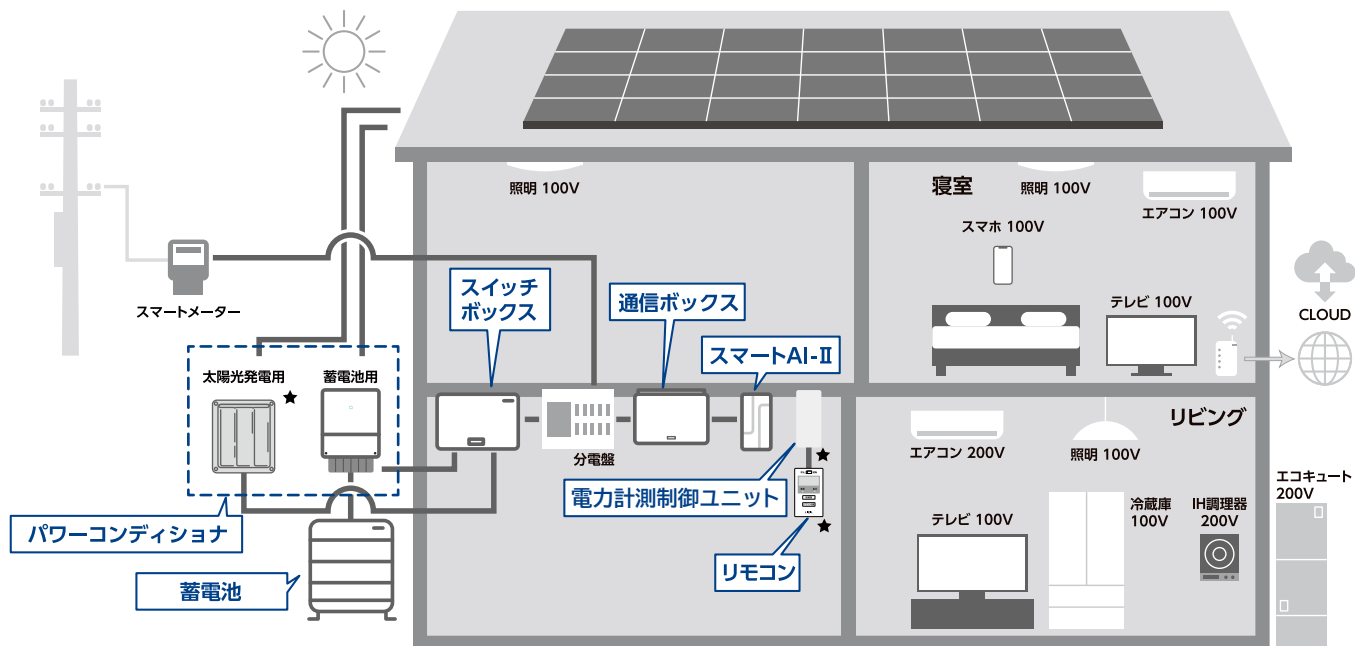


スイッチボックス



通信ボックス

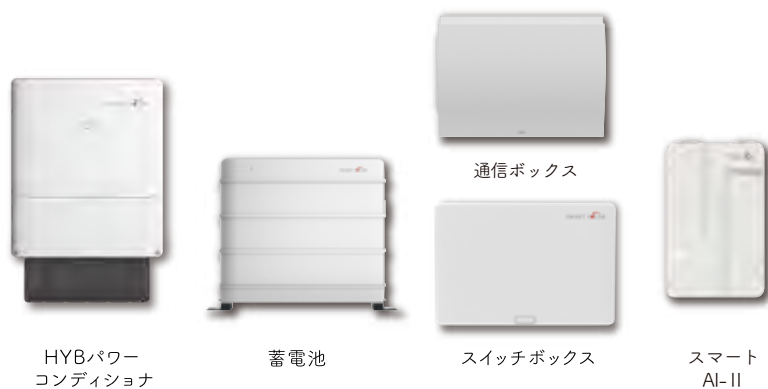
3-1. システム構成(でんちプラス・でんちプラスE)



- ※インターネット環境が必要です
- ※必ず固定回線をご準備ください。モバイルWi-Fiはご遠慮ください。
- ※イラストはイメージです
- ★太陽光発電用のパワーコンディショナ、電力計測制御ユニット、リモコンは「建て得でんちプラス」・「建て得でんちプラスE」のみ設置します。

建て得でんち、建て得でんちEご採用のお客様

「ハイブリッド蓄電システム機器」を設置します。



ハイブリッド蓄電システム機器

建て得でんちプラス、建て得でんちプラスEご採用のお客様

「ハイブリッド蓄電システム機器」に加え、「太陽光発電用機器」も設置します。

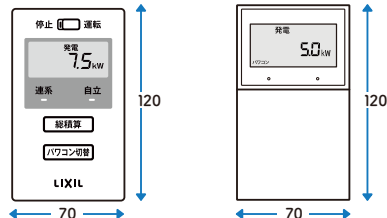


※電力計測制御ユニットは東京電力管轄・中部電力管轄・関西電力管轄には設置されません

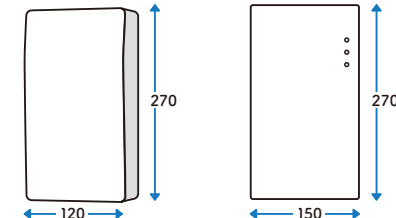
太陽光発電用機器

【YLEパワーコンディショナ】はCまたはDを、【パワコン用リモコン】と【送信ユニット・電力計測制御ユニット】は各々上記いずれかの製品を設置いたします

【パワコン用リモコン】



【送信ユニット・電力計測制御ユニット】

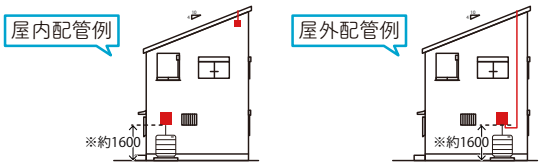




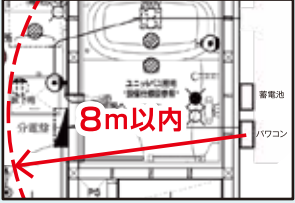








3-2. 必要な図示図面

*配管や機器の設置位置等は
敷地内に納まるようご指示願います

上棟7日前まで

※**非常用コンセント**は本システムでんち(E)・でんちプラス(E)には含まれませんので、図示は不要です

必要な図示図面	でんち でんちE	でんちプラス でんちプラスE	図示事例
太陽光ケーブルの入線位置 ※屋内配管の場合は入線位置 ※屋外配管の場合はパワコンまでの配管ルートを図示	○	○	 <p>※複数の屋根面に太陽光パネルを搭載の場合、複数の箇所からの引込みをご検討ください ※屋外配管の場合は、配線経路を図示してください</p>
ハイブリッドパワーコンディショナの設置位置 ※1台になります	○	○	 <p>※平面図、立面図双方に図示願います ※基本は屋外設置ですが、海岸線からの距離が300m未満の案件は屋内設置</p>
YLEパワーコンディショナの設置位置 (基本は屋外設置ですが、海岸線から1km以内の案件は屋内設置になります。)	×	○	 <p>※でんちプラス、でんちプラスEご採用時のみ設置</p>
コンクリート基礎敷設位置 ※室内床上設置の場合は不要	○	○	 <p>※住宅の基礎と一緒に敷設ください ※建築図面制作時に蓄電池設置場所を決定してください</p>
蓄電池の設置位置	○	○	 <p>※日の当たらない北面等に設置 ※パワコンとの離隔寸法を遵守の事 ※海岸線から距離が300m未満の案件は屋内設置</p>
分電盤の設置位置	○	○	 <p>※パワコン設置位置から半径8m以内に設置してください ※分電盤脇にスマートA I、スイッチボックス、通信ボックス等が設置されますので、スペース確保をお願いします</p>

必要な図示図面	でんち でんちE	でんちプラス でんちプラスE	図示事例
スマートAI-IIの設置位置	○	○	 <p>※設置場所は分電盤必須 ※設置スペースの確保を必ず願います</p>
通信ボックスの設置位置	○	○	 <p>※設置場所は分電盤必須 ※設置スペースの確保を必ず願います</p>
スマートスイッチボックス-Hの設置位置	○	○	 <p>※設置場所は分電盤必須 ※設置スペースの確保を必ず願います</p>
電力計測制御ユニット ¹ 台 (必ず分電盤の横に設置になります。図示は不要です。)	×	○※	 <p>※東京電力、中部電力、関西電力管内のエリアは、設置されません</p>
建て得用LANコンセントの設置位置 (LAN接続が必要になります。 ルーター・モデム付近に設置)	○	○※	 <p>※でんちプラスの場合、東北電力・中国電力・四国電力・九州電力（関西電力の一部地域）管内エリアの場合、同一箇所に2口設置となります</p>
パワコン用リモコン ※1台	×	○	

設計ガイド

標準採用モジュール・太陽光
ケーブルの引込位置・配管編

4

入線位置、配管方法をご確認ください

4-1. 標準採用モジュール・入線位置

4-2. 屋内・屋外配管について

4-1. 入線位置について



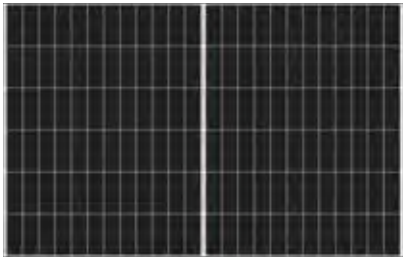
上棟 7 日前まで

標準採用モジュールT2シリーズ・Tシリーズ・Rシリーズ

▶ソーラーパネル

T2シリーズ・Tシリーズ

※カナディアン・ソーラー・ジャパン(株)製



※画像はFサイズモジュール

Fサイズ

CS6.2-48TM-465/455 出力：465W/455W

Sサイズ

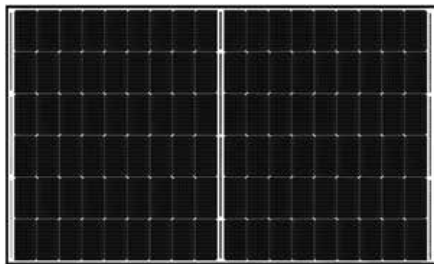
CS6.2-36TM-350/340 出力：350W/340W

XSサイズ

CS6.2-32TM-310/300 出力：310W/300W

Rシリーズ

※カナディアン・ソーラー・ジャパン(株)製



※画像はFサイズモジュール

Fサイズ

CS6R-410MS 出力：410W

Sサイズ

CS6RA-315MS 出力：315W

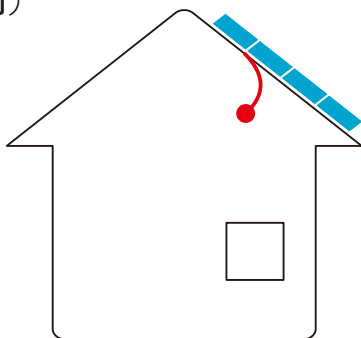
XSサイズ

CS6RB-270MS 出力：270W

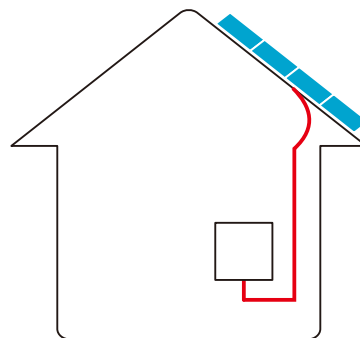
入線位置の選定基準

- 屋根形状やパワコン設置位置等を考慮し選定してください（パワコン設置面と同一面等）
- 屋外配管の場合は配管ルートをご確認の上、図示願います
- モジュールが複数の屋根面に搭載される現場で、複数箇所からの入線を希望される場合は該当箇所を図示願います

▶入線箇所(例)



(屋内配管)



(屋外配管)

※パワーコンディショナ設置面の上部、ケラバ側等の壁面から入線をします

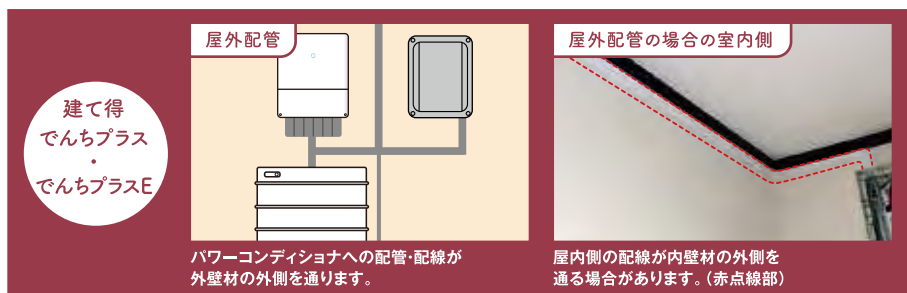
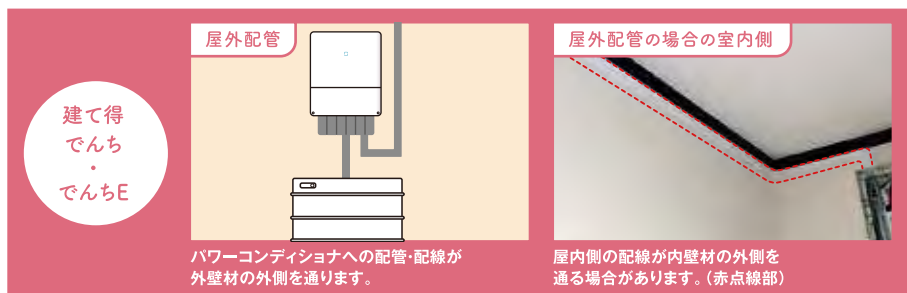
※屋外配管時の留意点については、【備考】「屋外配管の場合の留意点」を必ず参照ください

※配管ダクト色はアイボリー色が標準となります。黒色もご用意しております



① 基本配管方法(屋外配管)上棟30日前までのお申込み

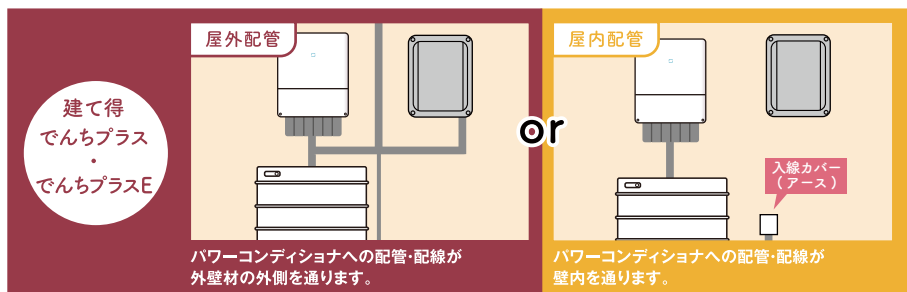
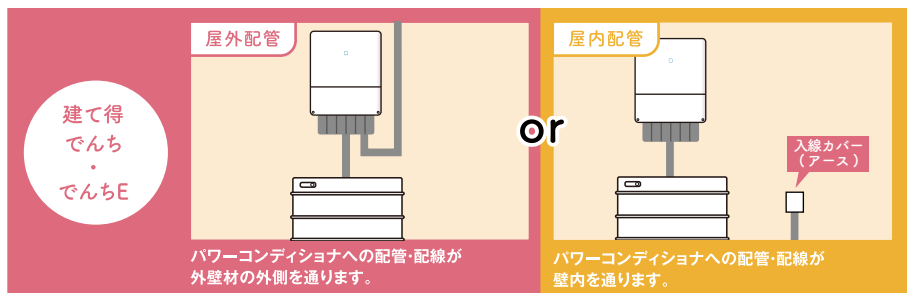
お申込み後に上棟日が前倒しとなり、お申込みから上棟日までが40日未満となる場合を含み、屋外配管になります。屋内にモール配線となる場合があります。



② 上棟日40日前までのお申込み

基本は屋内配管となります。屋外配管をご希望の場合はご連絡をお願いいたします。屋外配管を選ばれても室内はモールを使用しない配線が可能になります。

パワーコンディショナと蓄電池は近接するため屋外配管となります。



5

設置するシステム構築とご指定いただく
図示図面をご確認ください

- 5-1. ハイブリッドパワーコンディショナ
蓄電池の設置位置
- 5-2. ハイブリッドパワーコンディショナ
YLEパワーコンディショナの
設置について
- 5-3. 蓄電池の設置について
- 5-4. ハイブリッド蓄電システムと
太陽光発電システムの併設時の設置位置
- 5-5. 屋内への設置について

5-1. ハイブリッドパワーコンディショナ・蓄電池の設置位置

▶▶ 上棟 7 日前まで

■ハイブリッドパワーコンディショナ/蓄電池設置場所について(全国共通)

【屋外・屋内設置共通】

- 人の往来の妨げになる場所や、生活に影響を与えるような場所には設置しないで下さい
- パワコン本体の左右上下及び前面は、放熱やメンテナンスのため隔離寸法を必ず確保して下さい
- 高周波機器、無線機器などがある場所に設置しないで下さい(誤動作します)
- 油が多い場所や油煙が立ち込める場所には設置しないで下さい
- テレビ・ラジオ無線機等のアンテナやアンテナ線は、パワコン・パワコン配線から必ず3m以上離して設置して下さい(受信障害の場合あり)ただし、ノイズの影響を受けやすくテレビやラジオなどの電波の受信感度が弱い場合、3m以上の間隔を空けても影響を受けることがあります。
- 温泉地等、雰囲気等特殊な場所に設置しないでください
- 蓄電池の設置にはコンクリート基礎の設置が必要です(室内床上設置の場合は土台【構造用合板24mm】が必要です)
- ガス機器などと並列設置する場合において、燃焼ガスや排気が直接または間接的に当たる場所避けてください

【屋外設置共通】

- 海岸線から300m未満の場所には、屋外に設置しないで下さい
- 直射日光の当たる箇所への設置は避けて下さい(南面以外に設置して下さい)
- 日陰になる箇所へ設置されることを推奨します
- 離隔寸法内に雨樋やエアコンダクト、換気フードなどは設置しないで下さい
- パワコンは配管の都合上、吹抜けや階段の外部、窓下への設置は避けて下さい(配線の引き廻しができない場合があるため)

【屋内設置共通】

- 海岸線から100m未満の場所には、屋内でも設置しないで下さい
- キッチンやバスルーム出入口等、水や蒸気・湯気・油等にさらされる場所へは設置しないで下さい
- 床下などの塵埃が多い場所に設置しないで下さい
- 換気ができない場所には設置しないで下さい
- 電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品(パソコン等)はパワコンの近くには設置しないで下さい(通信に関する相互干渉の影響を受ける場合があります)

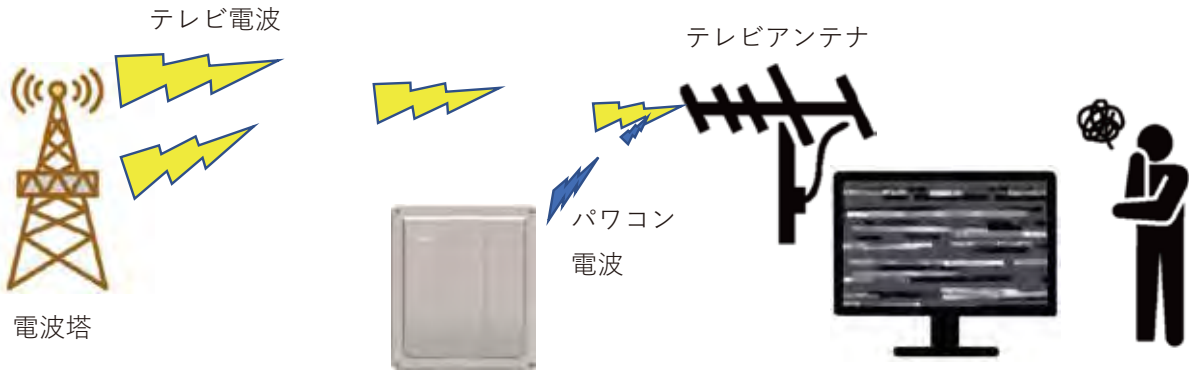
【その他】

- 外壁等への設置についてパワコンを設置する面が、よろい張りや凸凹のある形状などの外壁等の場合、不陸調整のため下地調整材が必要となる場合があります。
ビルダー様に別途費用が発生する事がございますのでご了承願います

パワーコンディショナとTV受信アンテナに関する注意事項

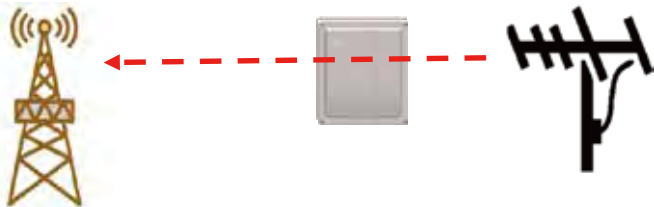
株式会社 LIXIL

パワーコンディショナは、直流の電気を交流に変換する際に、その仕組み上 微弱なノイズを発生します。ノイズの出力は国が定める基準を遵守しており、特に有害なものではありませんが、環境条件などによってはTVの受信電波に影響を及ぼす可能性がありますので、以下のような場合にはご注意ください。



【ご注意ください】

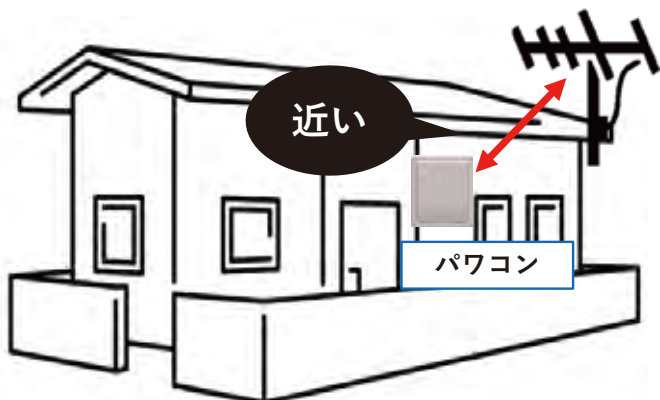
① アンテナの向きがパワコンの方を向いている



② 電波塔からのTVの電波が弱いエリア



③ アンテナとパワコンの距離が近い



特に平屋住宅の場合、アンテナの設置位置が低くなるため、パワコンからのノイズの影響を受けやすくなります。

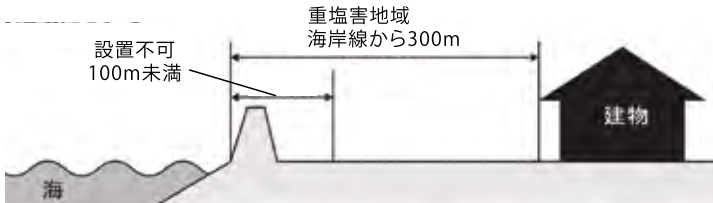
予めアンテナとパワコン両方の設置位置をご検討・ご確認いただき、離隔距離（※）が十分に確保できる位置へ決定していただきますようお願い致します。

※アンテナは【アンテナ本体】と【アンテナ線】を含みます

5-1. ハイブリッドパワーコンディショナ・蓄電池の設置位置

▶▶ 上棟 7 日前まで

■ 重塩害地域について



重塩害地域でのパワーコンディショナ及び蓄電池本体の設置可否

設置可否 ※寒冷地の確認後設置可の場合、次に海岸からの距離を確認して設置可否を判断してください。
 パワーコンディショナ個別の詳細要件は各機器の施工説明書をご確認ください。

○は屋外及び屋内設置が可能。△はでんちプラス・でんちプラスEのみ。×は屋外及び屋内も設置できません。

設置機器	寒冷地	海岸からの距離							
		外海(※4)			瀬戸内海(※4)				通常地域
		~100m未済	100~300m未済	300~1km未済	~100m未済	100~300m未済	300~500m未済	500~1km未済	
ハイブリッドパワコン	屋内設置のみ	×	屋内設置のみ	○	×	屋内設置のみ	○	○	○
ハイブリッド蓄電池	△ (※2)	×	屋内設置のみ	○	×	屋内設置のみ	○	○	○
YLEパワコン	○ (※3)	×	屋内設置のみ	屋内設置のみ	×	屋内設置のみ	屋内設置のみ	○	○

※1 沖縄と離島の全域には設置できません。 ※2 屋内設置となる地域は2次元コードから確認ください。

※3 -20℃以下になる場所、結露のある場所、積雪地域には設置できません。

※4 海岸からの距離にかかわらず、海水飛沫や潮風が直接当たる場所と思われる場所には設置できません。

■ 蓄電池 設置場所について

スマート蓄電池が屋内設置となる場合があります

海岸線から 300m 以内のエリア及び一部寒冷地エリアでは蓄電池を室内に設置しなければなりませんので対象エリアについては右記二次元コードをご確認をお願いします。



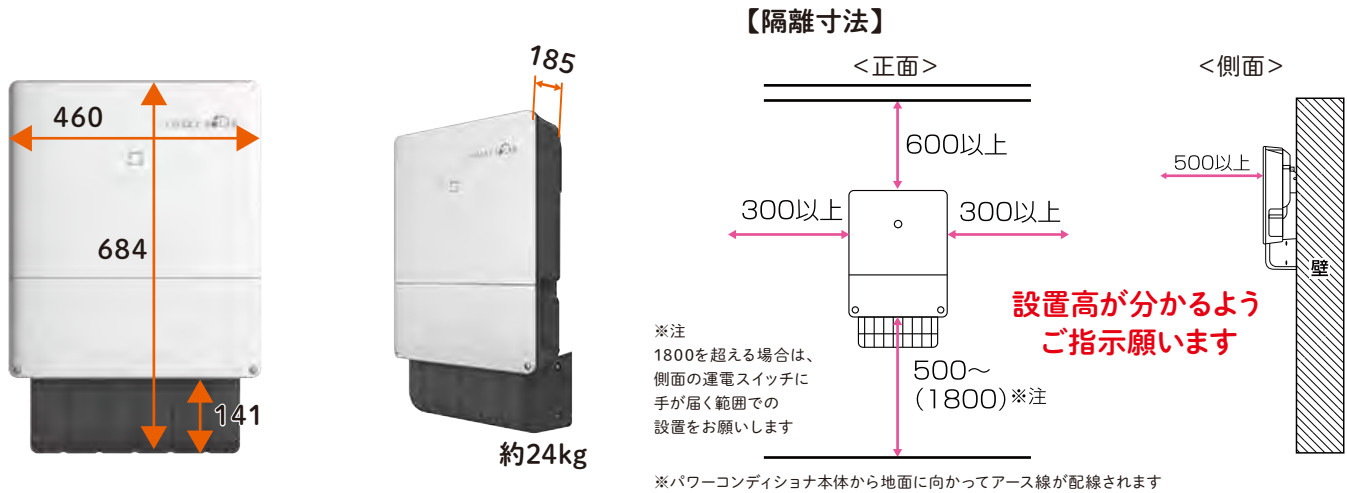
スマートソーラー社 検索用HPアドレス

https://www.smartsolar.co.jp/smartchikuden/installable_area02/

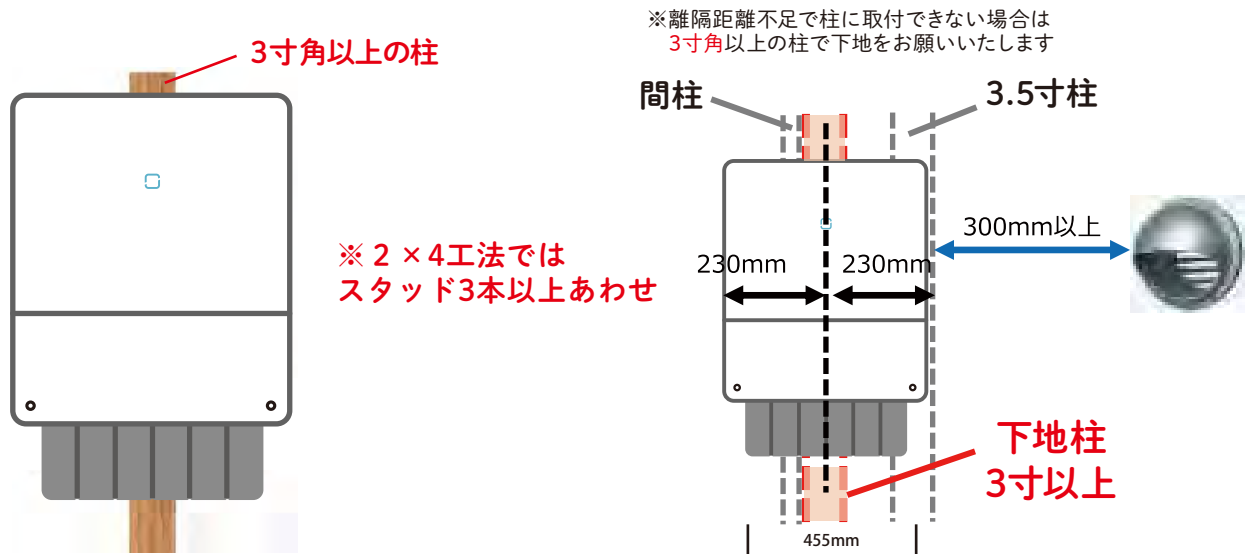
5-2. ハイブリッドパワーコンディショナ・YLEパワーコンディショナの設置について

上棟7日前まで

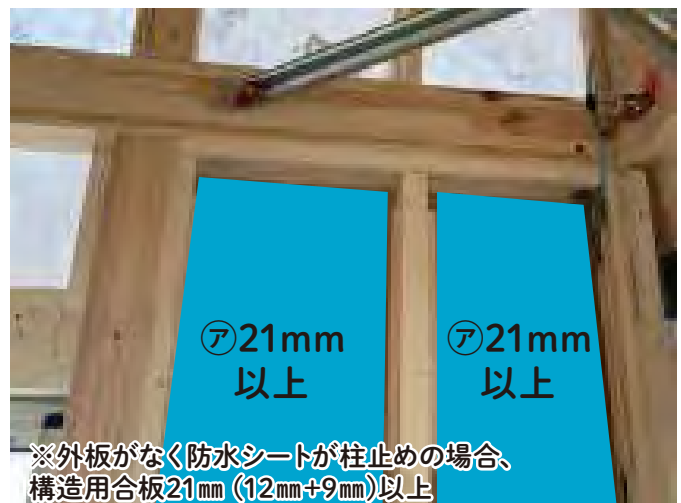
■ハイブリッドパワーコンディショナ設置について



①屋外設置（屋内配線仕様）、屋内設置は柱に取付となります （※間柱には取付できません。3寸角以上の柱への取付となります）



②屋外設置屋外（露出）配線の場合 設置位置に構造用合板^ア21mm以上で 下地をお願いします（外板がある場合）

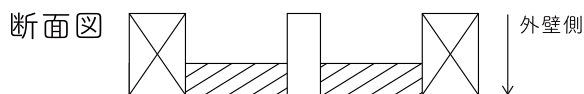


5-2. ハイブリッドパワーコンディショナ・YLEパワーコンディショナの設置について

上棟 7 日前まで

【屋外配管の場合】

下図のように設置予定位置には補強用の下地を入れておいてください。



※パワーコンディショナを屋内に設置する場合にも上記断面図の下側が内壁側となるように設置していただくか、内装下地ボードの替りに合板を張っていただくようお願いいたします。

建て得でんちプラス・でんちプラスE

太陽光発電用パワーコンディショナ/YLE-TL** (YLE**D)

※建て得でんちプラスの場合、2台目のパワーコンディショナが設置されます

【屋外・屋内設置共通】

基本は北面等の直射日光の当たらない屋外の壁面で、蓄電池用のハイブリッドパワーコンディショナーに離隔300mm以上で隣接する壁面に設置しますが、下表の条件に該当する場合には屋内設置となります。

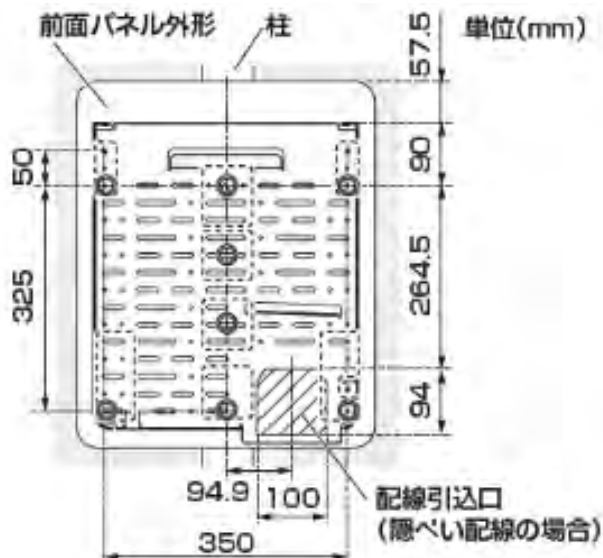


- 塩害地域（沖縄と離島の全域、外海の海岸から1km以内、瀬戸内海の海岸から500m以内または潮風が直接当たる場所）の屋外には設置しないで下さい
海岸からの距離にかかわらず、周囲の状況により潮風の影響があると思われる場所は塩害地域とみなしてください（※1）
- 温度変化の激しい場所（結露のある場所）、著しく湿度の高い場所（湿度90%RHを超える場所）には設置しないでください
- 過度の水蒸気・油蒸気・煙・塵埃・砂ホコリや塩分・腐食性物質・爆発性/可燃性ガス・化学薬品・火気・燃焼ガスにさらされる場所及びさらされるおそれのある場所には設置しないでください
- 換気・風通しの悪い場所や夏場温度が著しく上昇する場所（屋根裏・納戸・押入れ・床下など）、必要なスペースが確保できない場所には設置しないでください
- テレビ、ラジオ無線機等のアンテナやアンテナ線は、パワコン、パワコン配線から必ず3m以上離して設置してください（受信障害の場合あるため）
- 配管の都合上、吹抜けや階段の外部、窓下への設置は避けてください（配線の引き回しができない場合があるため）
- エコキュートタンク上部は避けて設置してください

パワコンを設置する面が、よろい張りや凸凹のある形状などの外壁等の場合、不陸調整のため下地調整材が必要となる場合があります。

ビルダー様に別途費用が発生する事がございますのでご了承願います

YLEパワーコンディショナの設置について



YLEパワーコンディショナーは左図のように柱へビス留めして固定する仕様です。

設置する場所は、パワーコンディショナの質量（取付板、保護ガードを含む：約22kg）に耐える壁の構造であることを確認してください。必要により壁の補強を行ってください。



5-2. ハイブリッドパワーコンディショナ・YLEパワーコンディショナの設置について

上棟7日前まで

建て得でんちプラス・でんちプラスE

太陽光発電用パワーコンディショナ/YLE-TL***(YLE**C)

※建て得でんちプラスの場合、2台目のパワーコンディショナが設置されます

【屋外・屋内設置共通】

基本は北面等の直射日光の当たらない屋外の壁面で、蓄電池用のハイブリッドパワーコンディショナーに離隔300mm以上で隣接する壁面に設置しますが、下表の条件に該当する場合には屋内設置となります。



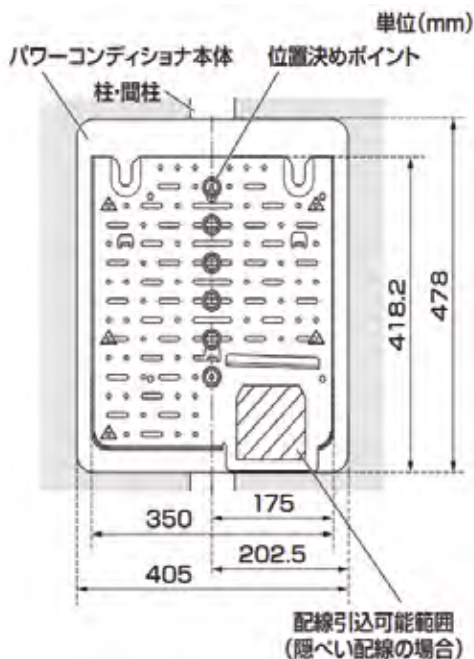
YLEパワー
コンディショナー

- 塩害地域（沖縄と離島の全域、外海の海岸から1km以内、瀬戸内海の海岸から500m以内または潮風が直接当たる場所）の屋外には設置しないで下さい
海岸からの距離にかかわらず、周囲の状況により潮風の影響があると思われる場所は塩害地域とみなしてください（※1）
- 温度変化の激しい場所（結露のある場所）、著しく湿度の高い場所（湿度90%RHを超える場所）には設置しないでください
- 過度の水蒸気・油蒸気・煙・塵埃・砂ホコリや塩分・腐食性物質・爆発性/可燃性ガス・化学薬品・火気・燃焼ガスにさらされる場所及びさらされるおそれのある場所には設置しないでください
- 換気・風通しの悪い場所や夏場温度が著しく上昇する場所（屋根裏・納戸・押入れ・床下など）、必要なスペースが確保できない場所には設置しないでください
- テレビ、ラジオ無線機等のアンテナやアンテナ線は、パワコン、パワコン配線から必ず3m以上離して設置してください（受信障害の場合あるため）
- 配管の都合上、吹抜けや階段の外部、窓下への設置は避けてください（配線の引き回しができない場合があるため）
- エコキュートタンク上部は避けて設置してください

パワコンを設置する面が、よろい張りや凸凹のある形状などの外壁等の場合、不陸調整のため下地調整材が必要となる場合があります。

ビルダー様に別途費用が発生する事がございますのでご了承願います

YLEパワーコンディショナの設置について



YLEパワーコンディショナーは左図のように柱へビス留めして固定する仕様です。

設置する場所は、パワーコンディショナの質量（取付板、保護ガードを含む：約23kg）に耐える壁の構造であることを確認してください。必要により壁の補強を行ってください。

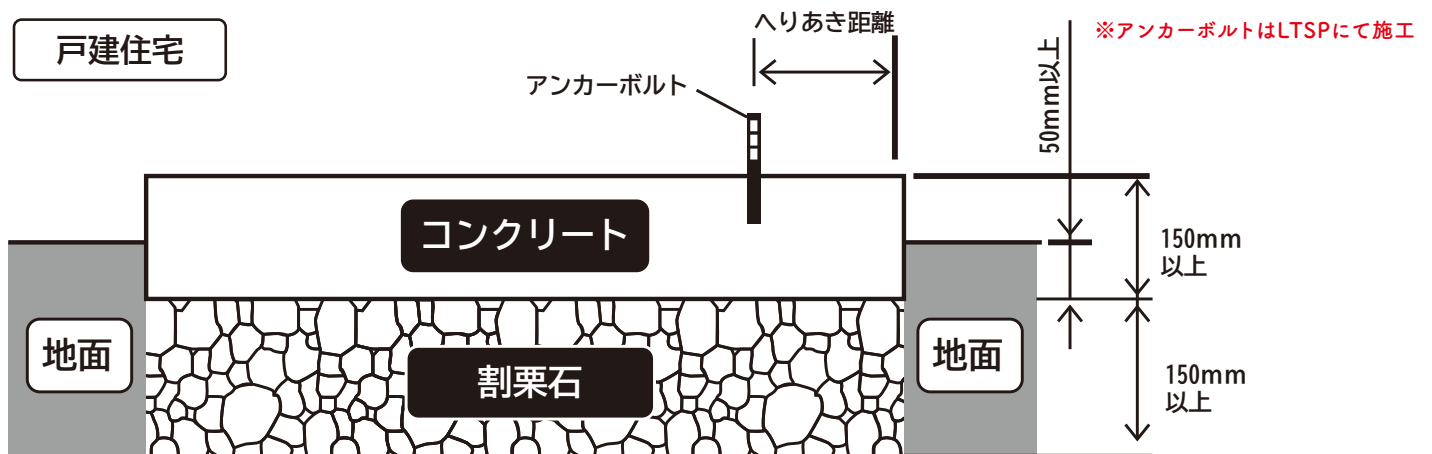


5-3. 蓄電池の設置について

▶▶ 上棟 7 日前まで

■蓄電池用基礎コンクリート

- ・住宅の基礎と一緒に基礎のご用意をお願いします(初回現場訪問時に確認致します)
- ・コンクリート強度、養生期間については、住宅金融支援機構工事仕様書に準じます
- ・建築図面作成時に蓄電池の設置場所を決めて下さい
- ・**基礎高が不明ですとパワコンの配管位置が確定しません。必ず初回工事迄に基礎のご用意をお願いします**
- ・寒冷地では根入れ深さは地域によって変わるので、凍結深度以上にして下さい
- ・蓄電池設置面(天面)は必ず水平でお願いします



■蓄電池アンカー設置

基礎高さ 150 mm、基礎幅 900 mm以上 x 基礎奥行 500mm 以上

■蓄電池 + スマートベース H 設置

基礎高さ 150 mm、基礎幅 1,000 mm以上 x 基礎奥行 600mm 以上

スマートベースH

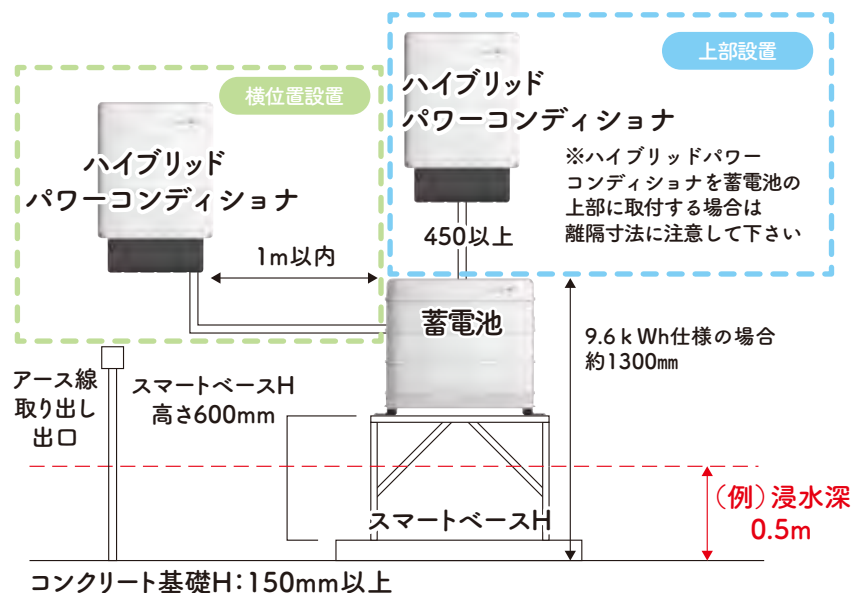
※オプションになります

型式	SB-SBR-H
外形寸法	W730×H600×D332
設置方法	アンカー固定
材質	ZAM+塗装仕上げ
設置可能環境	塩害地域を含む屋内外(屋内は土間のみ)
質量	約19.5kg

ハザードマップの例



※行政から出されている浸水深を考慮して基礎高さ、根入れ深さを決めてください



5-3. 蓄電池の設置について

▶▶ 上棟 7 日前まで

■蓄電池



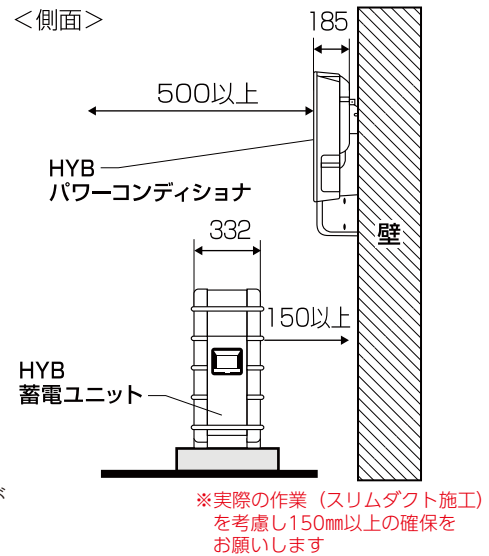
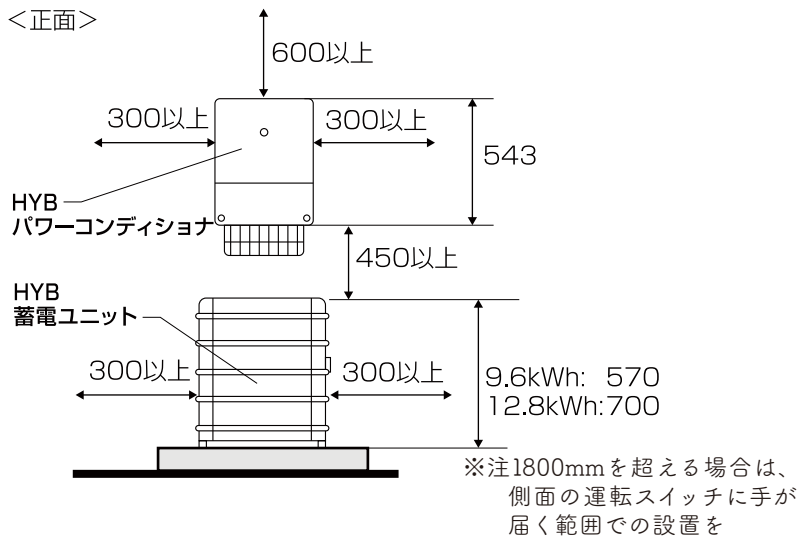
パワーコンディショナと蓄電池は屋外配管で配管します

※配管ダクト色はアイボリー色が標準となります。黒色もご用意しております

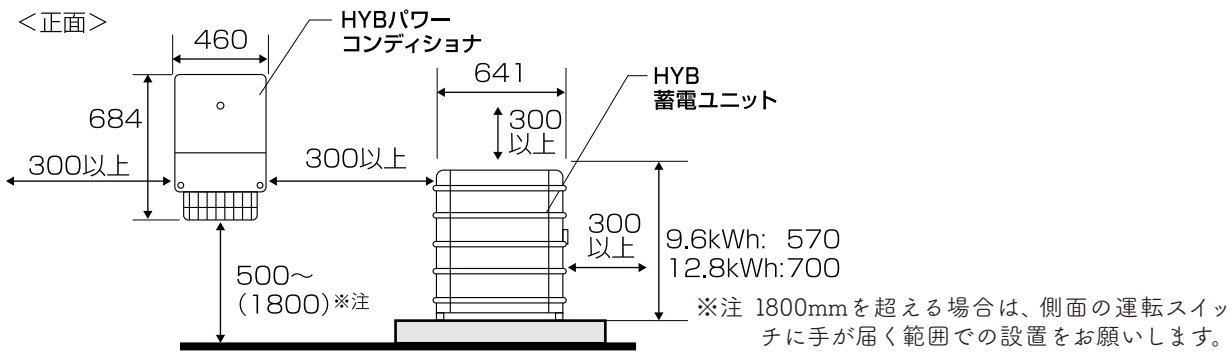


【標準納まり】※必ず離隔要件を遵守願います

単位：mm



【ずらして設置する場合】※左右1m以内に設置して下さい



5-4. ハイブリッド蓄電システムと太陽光発電システムの併設時の設置位置

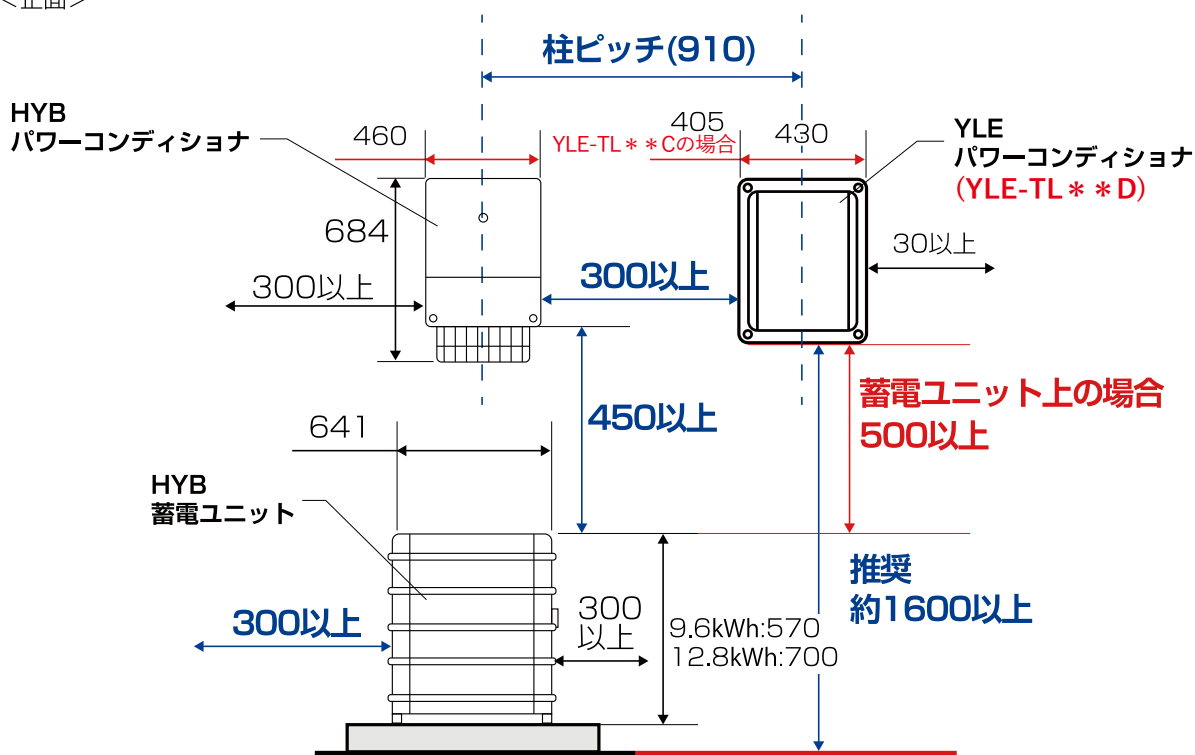
上棟7日前まで

建て得でんちプラスの場合

YLEパワーコンディショナとHYBパワーコンディショナの設置について(標準設置例)

※HYB・YLEパワーコンディショナを上下方向に設置することはできません。

<正面>



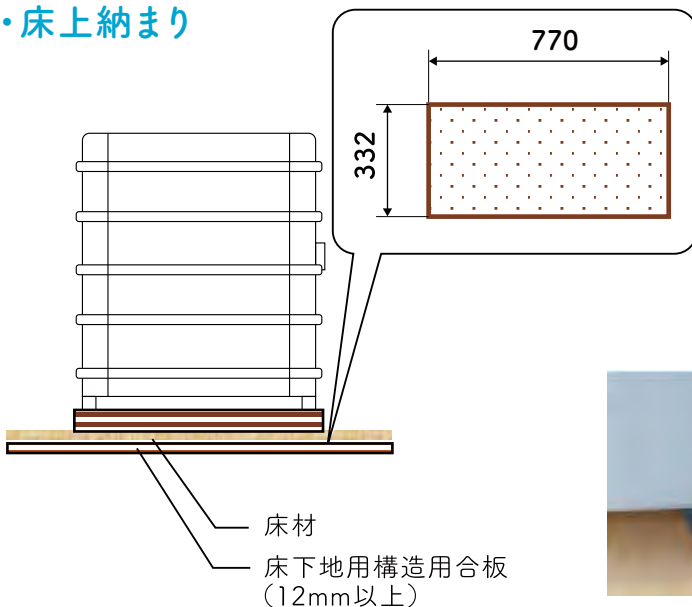
※蓄電池用のパワコンとYLEパワコンは離隔距離の関係で左図のような位置関係になります。

<屋内床上設置の場合 ※人が長時間いるような付近には設置しないで下さい>

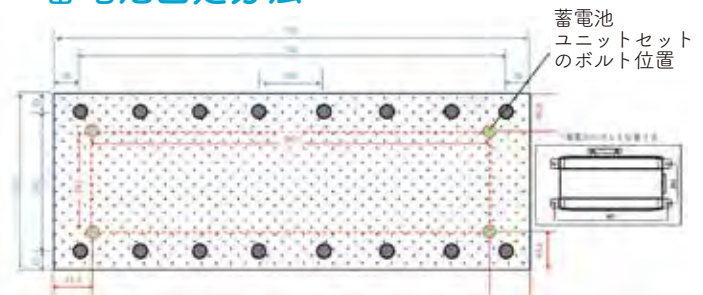
■蓄電池用 床上設置用土台をご用意ください

- 蓄電池は、床上に固定した土台（構造用合板24mm）の上に設置します。必ず蓄電池の設置工事までに設置位置に土台をご用意を願います。
- 設置場所の床については、蓄電池の重量に耐えうるものになっているかご確認を願います。また、必要に応じて床の補強を行ってください。
- 建築図面作成時に蓄電池の設置場所を確定願います。
- 蓄電池設置後、土台（構造用合板24mm）の周囲に化粧をしてください。
- 床上設置の場合、スマートベースHは使用できません
- パソコンは蓄電池近くの外部壁面に設置願います（南面を除く）※屋内でも可

・床上納まり



・蓄電池固定方法

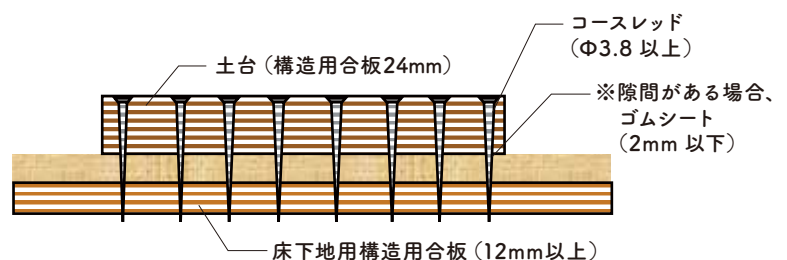
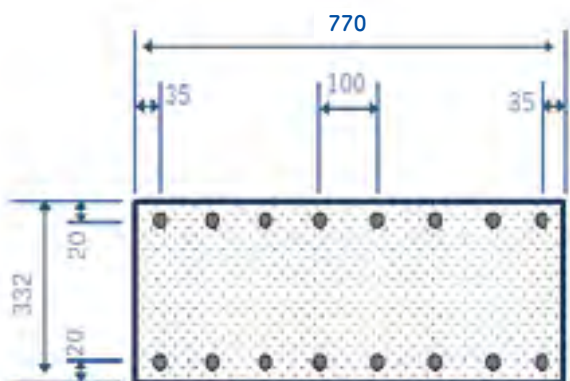


◀安全対策(例)

取付部に足をひっかけたりしてけがをする恐れがあります。ゴムシート等での保護を推奨します。

・土台設置方法

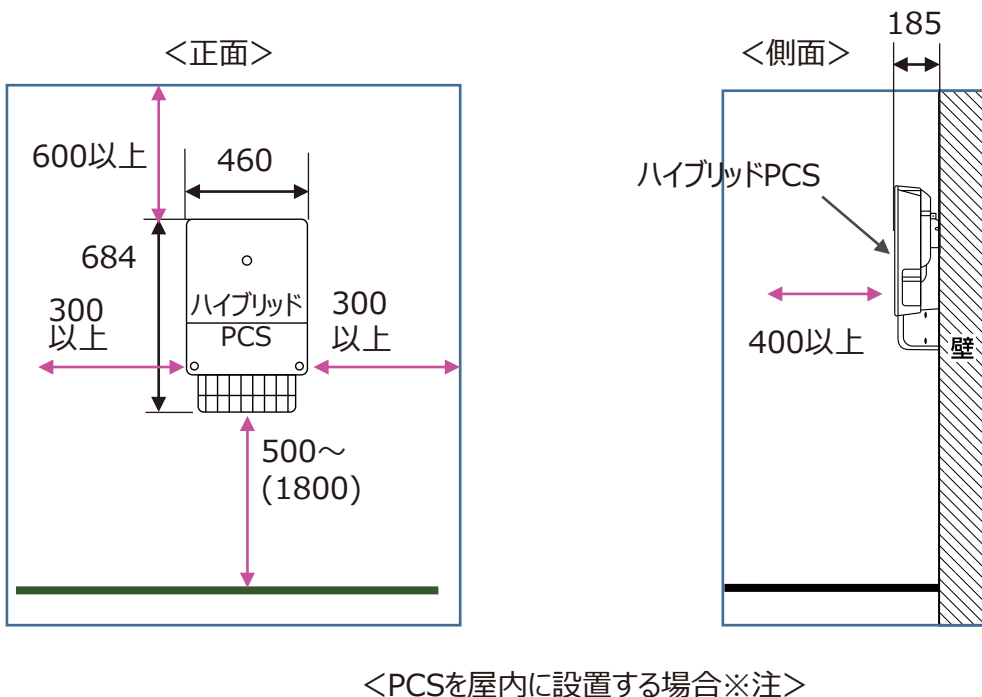
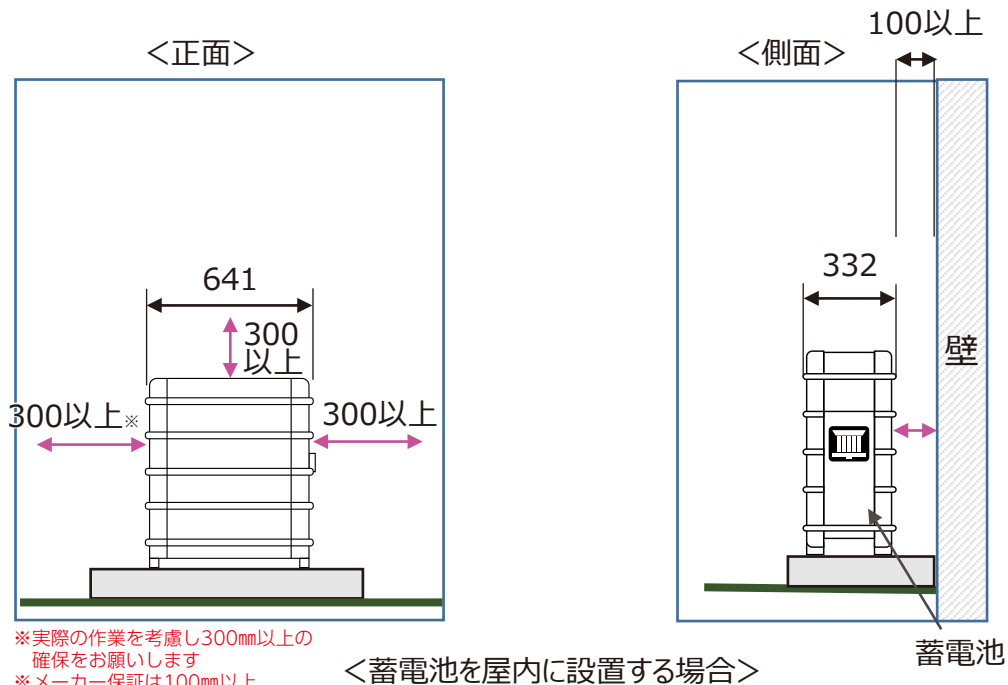
- ・土台（構造用合板24mm）は、コースレッド(Φ3.8以上の径)で、床下地用構造用合板に必ず効かせて固定してください
- ・床材と土台の間に隙間ができる場合、土台の下にゴムシート(2mm以下)を敷いてください



屋内設置：取付スペースについて

設置と点検時の作業スペースとして図示されたスペースを確保してください。

単位：mm



注意

PCSは換気された環境に設置してください。
PCS背面から熱が出るため、冷却には十分な換気が必要です。

※YLEパワコンも下端はFLより500mm以上での設置となります

6

分電盤周辺設置位置をご確認ください

6-1. 標準設置位置

6-2. 建て得用LANコンセント設置位置

6-1. 標準設置位置(でんち・でんちE)

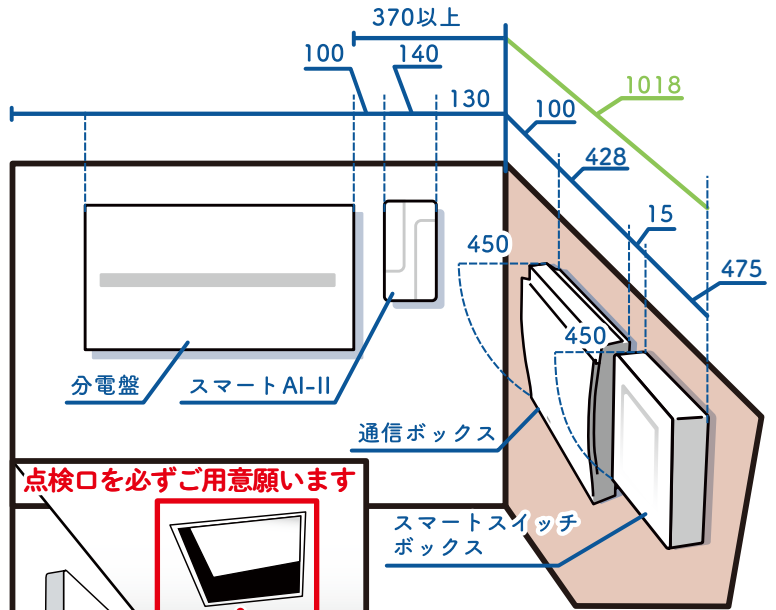
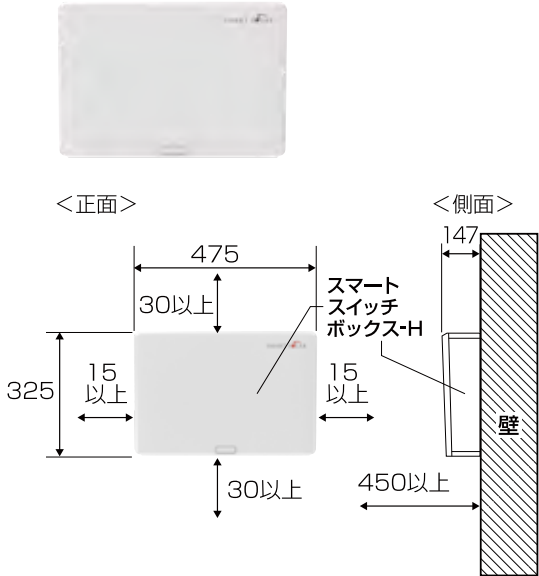
上棟7日前まで

スマートスイッチボックス、スマートAIは分電盤付近への設置が必須となります。
設置スペースの確保と図示を願います

建て得でんち参考標準設置位置

※スマートAIと分電盤とをつなぐCTセンサー用ケーブルは3mです。
必ず届く範囲での設置となります

スマートスイッチボックス



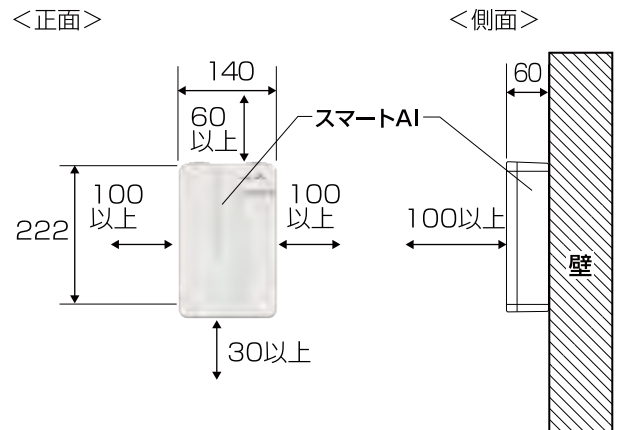
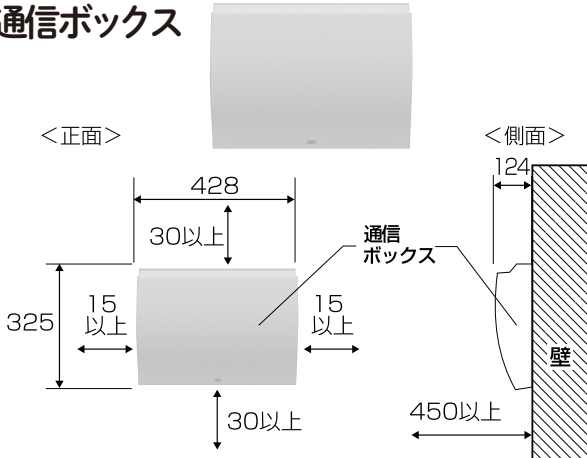
点検口を必ずご用意願います

配線や後のメンテがおこなえるよう、ビルダ一様に分電盤と通信ボックス、スイッチボックスとの間に点検口を必ず用意いただきますようお願いいたします。換気ユニットの点検口との干渉を避けて設置をお願いします

スマートAI

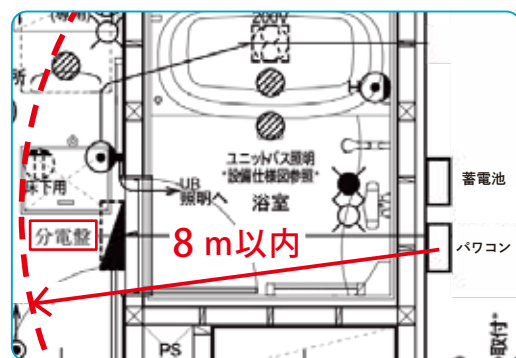


通信ボックス



【注意事項】

- 分電盤はパソコン設置位置から半径8m以内に設置して下さい
- 据付場所については、周囲温度0～50℃以内、温度変化で結露しない屋内といたします
- キッチンやバスルーム出入口など、水や蒸気・湯気・油などにさらされる場所へは設置をしないで下さい
- 天井裏・床下などの塵埃が多い場所には設置しないで下さい
- 本製品の近くでテレビやラジオ、無線などの使用や電氣的雑音の影響を受けると困る電気製品は使用しないで下さい
- 車庫・納屋など屋外と同環境には設置しないで下さい



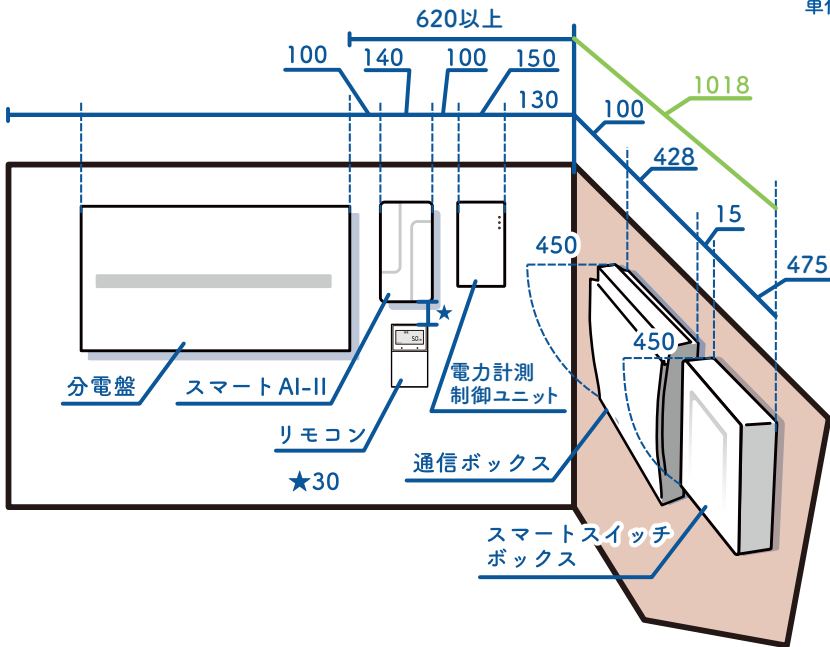
6-1. 標準設置位置 (でんちプラス・でんちプラスE)

▶▶ 上棟7日前まで

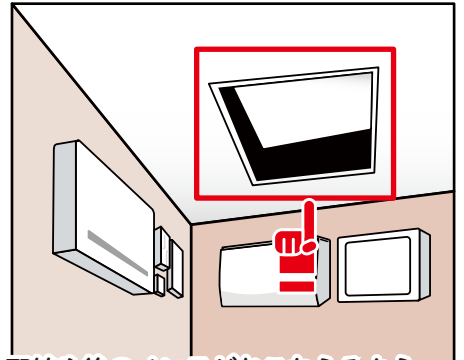
分電盤周りに設置する機器について下記をご参考に設置スペースの確保と
図示をお願いします

建て得でんちプラス参考標準設置位置

東北電力・中国電力・四国電力・九州電力管轄での参考標準配置

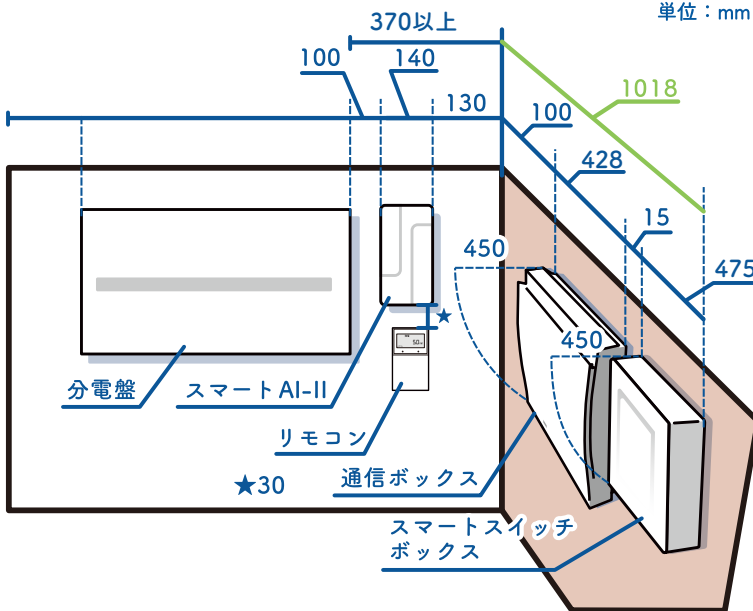


点検口を必ずご用意します

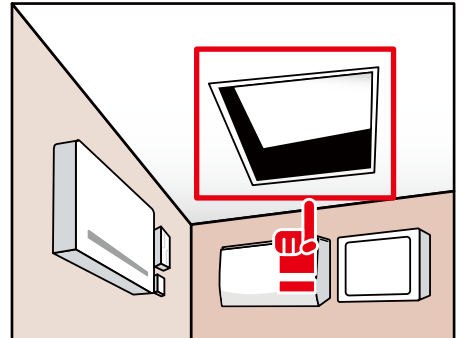


配線や後のメンテがおこなえるよう、ビルダー様にて分電盤と通信ボックス、スイッチボックスとの間に点検口を必ずご用意いただきますようお願いいたします。換気ユニットの点検口との干渉を避けて設置をお願いします

東京電力・中部電力・関西電力管轄での参考標準配置



点検口を必ずご用意します



配線や後のメンテがおこなえるよう、ビルダー様にて分電盤と通信ボックス、スイッチボックスとの間に点検口を必ずご用意いただきますようお願いいたします。換気ユニットの点検口との干渉を避けて設置をお願いします

イラストは広さ約1坪の洗面スペースに取付けた場合のイメージです

電力会社管轄	スイッチボックス	電力測定 制御ユニット (分電盤横必須)	スマートAI (分電盤と同一面)	リモコン	通信ボックス
東京・中部・関西	○	×	○	○	○
東北・中国・四国・九州	○	○	○	○	○

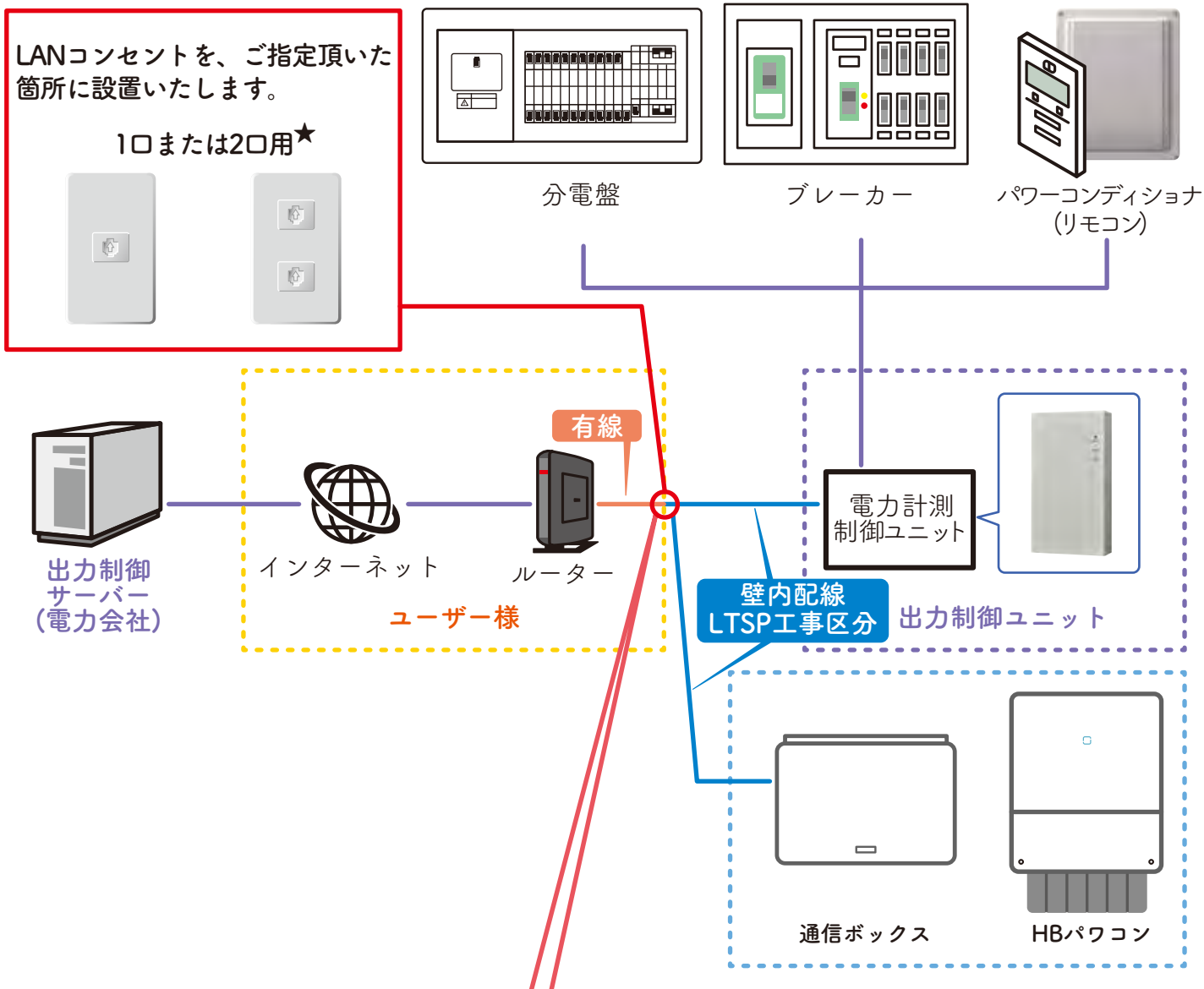
※非常用コンセントの設置はありません

6-2. 建て得用LANコンセントの設置位置

上棟7日前まで

■ 建て得用LANコンセント設置位置のご確認について

ビルダー様はお施主様とご確認の上、LANルーター付近に設置するLAN差込口(LANコンセント)の位置を図面上にてご指示願います。



★差込み口数は下記のとおり電力エリア、ご採用商品により1口用または2口用となります

エリア	LANコンセント	
	建て得でんち	建て得でんちプラス
東京電力・中部電力・関西電力の管轄エリア	1口	1口
上記以外のエリア	1口	2口

7

7-1. 太陽光発電システム施工の流れと ご協力をお願い

- ・屋内配管の場合
- ・屋外配管の場合

【備考】屋外配管の場合のご留意点について

7-2. ビルダー様へのお願い

- ※電気工事店様へお渡ししてください

【安全な作業を実施するために】

足場設置時のご確認とお願い

ビルダー様にてご準備・段取りいただく項目となります
円滑に太陽光発電システムの施工が進められるよう、ご協力をお願いします

工事の段取りについて[屋内配管の場合](上棟日40日前にお申込が必要です)

7-1. 太陽光発電システム施工の流れとご協力をお願い

現場の進捗がスムーズに運営できるように、下記手順で3回現場へお伺いさせていただきます。弊社施工管理部門より貴社に工程に関してのお電話をさせて頂き、協議させていただきますのでご協力をお願いします。

上棟

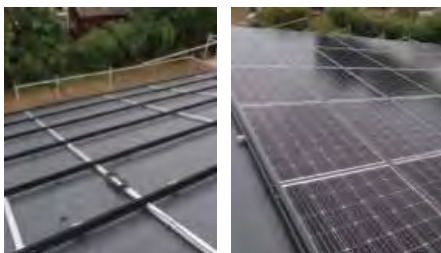


(ご準備願います)

床貼り工事 ~ 内壁ボード貼り
又は吹付け断熱
この間に1回目現場訪問します

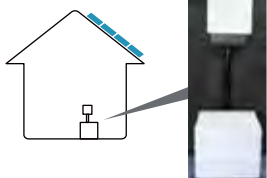


外壁工事 ~ 足場バラシ
この間に2回目現場訪問します



クロス工事 ~ 美装・掃除
この間に3回目現場訪問します

・パワーコンディショナと蓄電池本体の配管は
屋外配管で配管します



弊社施工班の動き



ビルダー様

1回目現場訪問 先行配管・現場調査

蓄電池用の基礎コンクリートは、住宅の基礎打ち時に一緒にご用意願います(寸法確認いたします)
太陽光ケーブルの宅内先行配管を行います。
工事時期は電気の宅内配線工事と同時期で、必ず内外壁材貼り前になります



ビルダー様

2回目現場訪問 パネル工事

太陽光パネルの設置工事を行います。
太陽光ケーブルの入線が必要です。
工事時期は必ず外壁が仕上がった後になります。足場も必ず必要です。



ビルダー様

3回目現場訪問 パワコン設置工事

蓄電池、パワコン、スイッチBOX、スマートAIの設置工事を行います。
リミッター分電盤設置~受電日(通電日)の間で設置します。受電日までに設置しないと家中の電気が使用できませんのでご注意下さい

弊社施工管理部門 からのご連絡



上棟前後で先行配管日程を決めるお電話を致します。



先行配線終了後パネル工事日程を決めるお電話を致します。
発注後納品まで3週間かかりますのでご協力をお願いします。



パネル工事終了後蓄電池やパワコン取付日程を決めるお電話を致します。

7-2. 太陽光発電システム施工の流れとご協力のお願い

現場の進捗がスムーズに運営できるように、下記手順で3回現場へお伺いさせていただきます。弊社施工管理部門より貴社に工程に関してのお電話をさせて頂き、協議させていただきますのでご協力をお願いします。

上棟



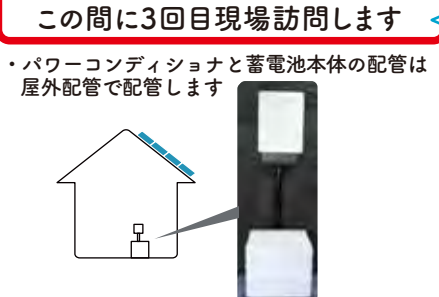
屋根工事



外壁工事～足場バラシ



クロス工事～美装・掃除



・パワーコンディショナと蓄電池本体の配管は屋外配管で配管します

弊社施工班の動き

ビルダー様

1回目現場訪問 現場調査

蓄電池用の基礎コンクリートは、住宅の基礎打ち時に一緒にご用意いたします(寸法確認いたします)
屋根材・屋根寸法の確認と、その他機器設置予定位置の変更必要有無を確認します。

ビルダー様

2回目現場訪問 パネル工事

太陽光パネルの設置工事を行います。
太陽光ケーブルの屋外配管と屋内配線を行います。工事時期は必ず外壁が仕上がった後になります。足場も必ず必要です。

ビルダー様

3回目現場訪問 パワコン設置工事

蓄電池、パワコン、スイッチBOX、スマートAIの設置工事を行います。
リミッター分電盤設置～受電日(通電日)の間で設置します。受電日までに設置しないと家中の電気が使用できませんのでご注意ください

弊社施工管理部門 からのご連絡



上棟前後で屋根ふき日を確認するお電話を致します。



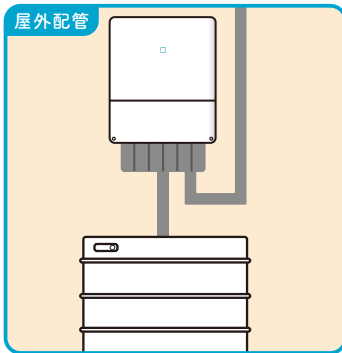
現場調査終了後パネル工事日程を決めるお電話を致します。機器設置予定位置に変更が必要な場合はここでお知らせします。発注後納品まで3週間かかりますのでご協力をお願いします。



パネル工事終了後蓄電池やパワコン取付日程を決めるお電話を致します。

【備考】屋外配管の場合のご留意点

① 意匠上配管が屋外に露出します



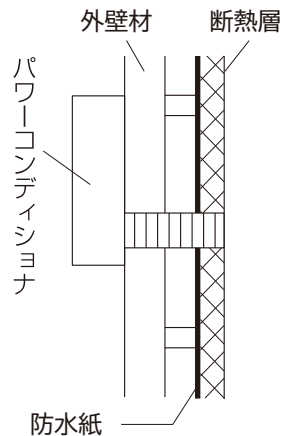
【ご注意ください】

「屋外配管」はパネルからパワーコンディショナまでの配管が屋外になるだけでなく、屋内の配線も点検口のある空間で直接配線できない場合には室内にモールで配線となります。ご注意ください。

屋外配管事例 ※パワーコンディショナと蓄電池は近接するため屋外配管となります。

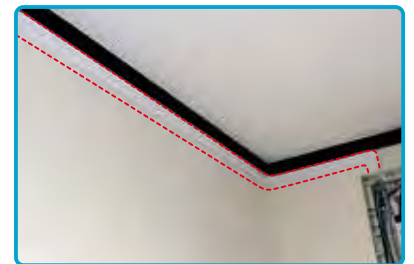
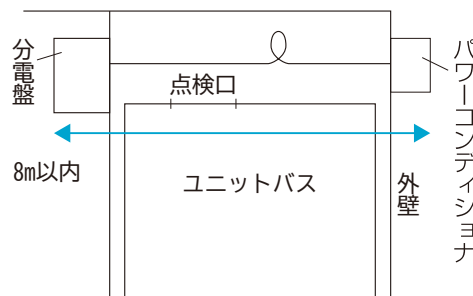
② 屋外からの配線穴は外壁施工後に貫通させますので、防水紙の穴への防水テープ処理ができません。

配管工事は外壁完成後に防水紙・断熱材を貫通させる穴を開けて施工します。



③ 室内側にモールが出る場合があります。

右図のように分電盤とパワコンの結線がユニットバスの天井など点検口のある空間で直接配線ができない場合には室内にモールで配線します。



室内モール工事例

ビルダー様へのお願い【建て得でんちの場合】

※電気工事店様にお渡しください

■分電盤：リミッタースペース付タイプをご採用ください。

①配線用遮断器 (MCCB) はリミッタースペースに3P3E 逆接続可能型・丸端子仕様をお取り付けください。

※②のELBと同容量、100A以下

②漏電遮断器 (ELB) は3P3E または 3P2E、中性線欠相保護付きをお取り付けください。

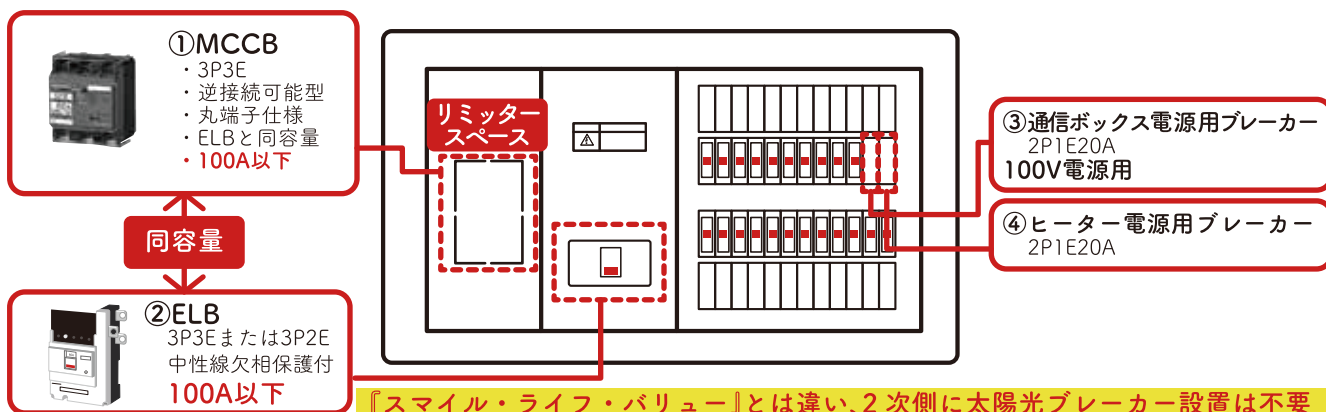
③通信 BOX 電源用ブレーカー：2P1E20A の予備回路の確保をお願いします。

④蓄電池ヒーター電源用ブレーカー：2P1E20A の予備回路の確保をお願いします。

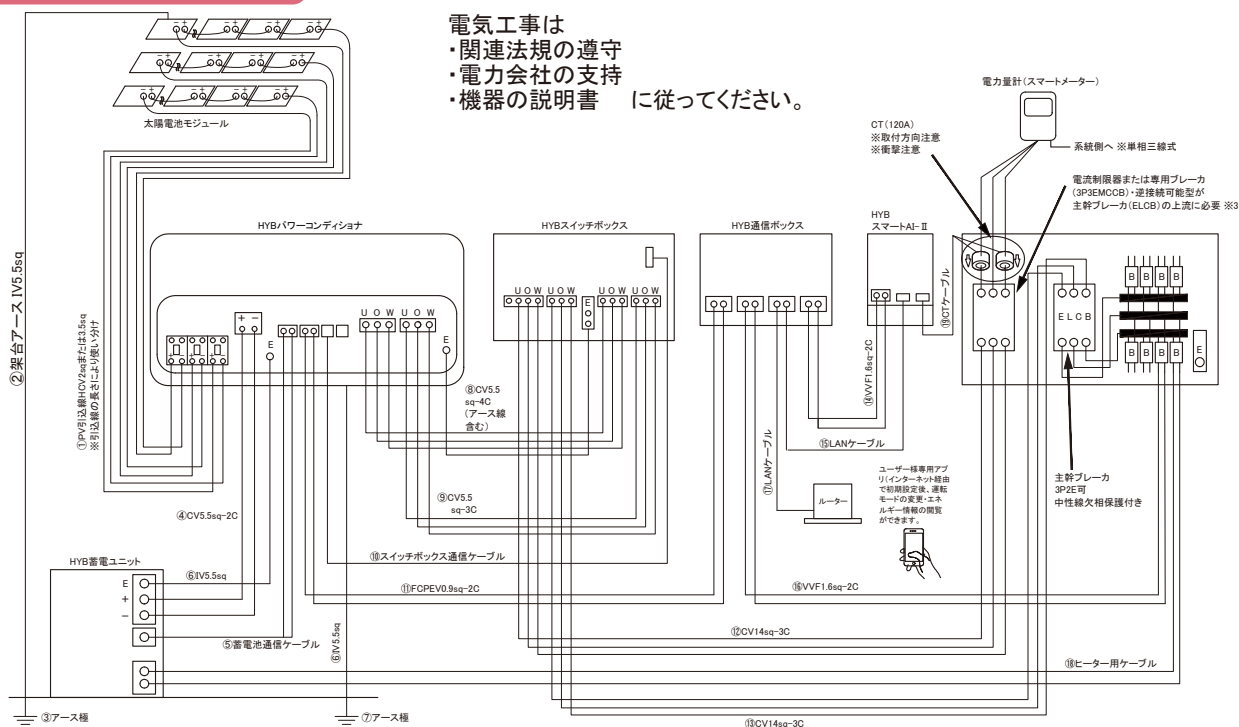
※分岐回路名「通信 BOX」・「蓄電池ヒーター」の表記をお願いします。

分電盤イメージ

分電盤と①～④のブレーカーは貴社でご準備ください



単線結線図



- ・補助金申請等でHEMSが必要な場合、弊社オプション「IoTホームLink Life Assist ホームコントローラー」をご利用の場合にはスマート分電盤の設置が必要となります
- ・幹線容量は100A以下が条件となります。
超過する場合は分電盤を分割していただく必要があります
- ・分割された分電盤に蓄電池は作用しません。
蓄電池を接続した分電盤でのみご利用いただけます

ビルダー様へのお願い【建て得でんちプラスの場合】

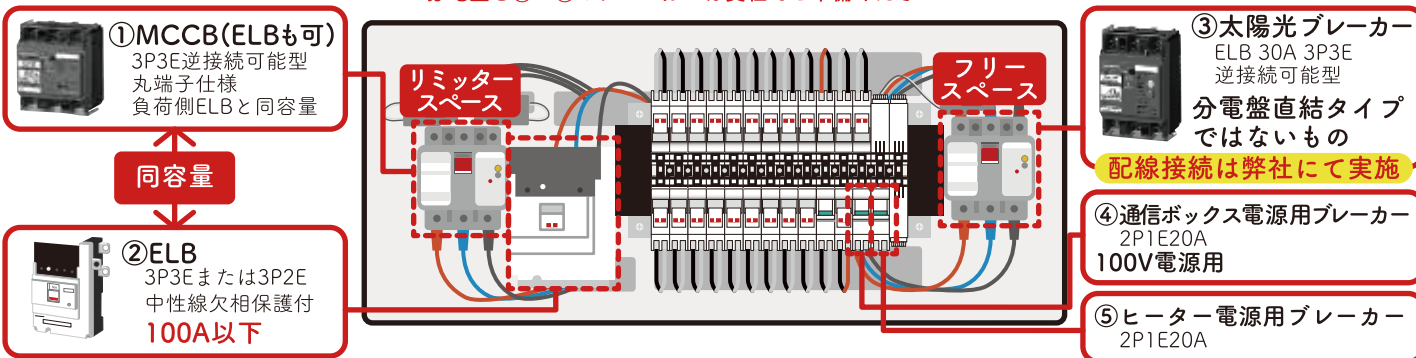
※電気工事店様にお渡しください

- 分電盤：リミッタースペースとフリースペース付タイプをご採用ください。
- ①配線用遮断器 (MCCB) はリミッタースペースに ELB と同容量の 3P3E 逆接続可能型・丸端子仕様をお付けください。
- ②漏電遮断器 (ELB) は 3P3E または 3P2E、中性線欠相保護付きの 100A 以下をお付けください。
- ③フリースペースに太陽光連系用ブレーカー ELB30A 3P3E 逆接続可能型・丸端子仕様をお付けください。
※分電盤直結タイプは NG とします。配線接続は弊社にて実施します。
- ④通信 BOX 電源用ブレーカー：2P1E20A の予備回路の確保をお願いします。
- ⑤蓄電池ヒーター電源用ブレーカー：2P1E20A の予備回路の確保をお願いします。
※分岐回路名「通信 BOX」・「蓄電池ヒーター」の表記をお願いします。

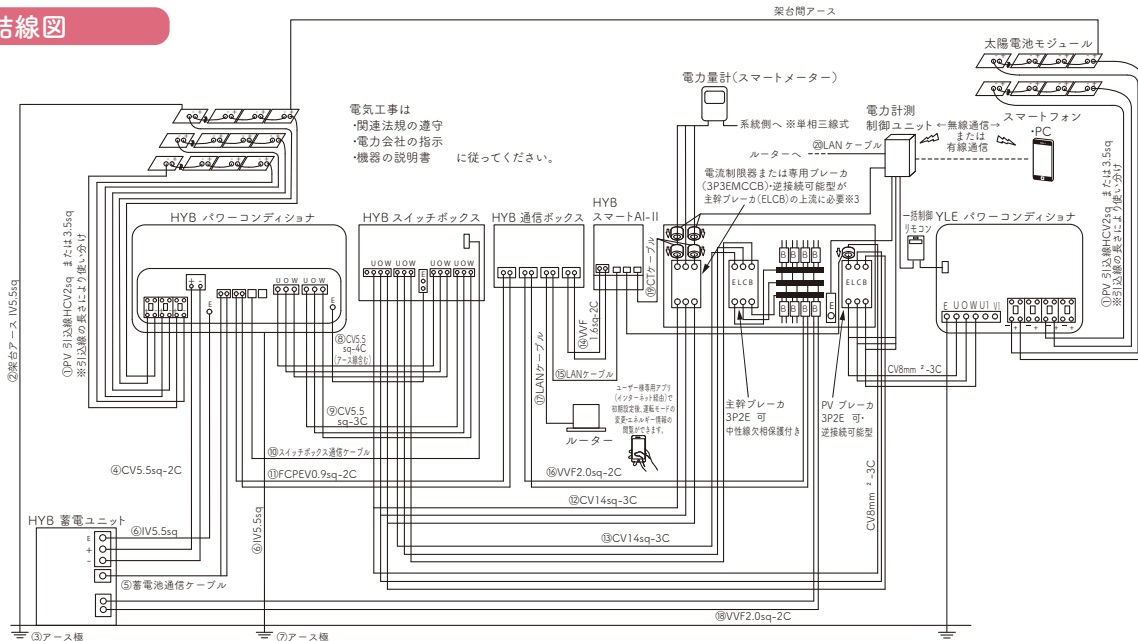
分電盤イメージ

リミッター・フリースペース付分電盤

分電盤と①～⑤のブレーカーは貴社でご準備ください



単線結線図



- ・補助金申請等でHEMSが必要な場合、弊社オプション「IoTホームLink Life Assist ホームコントローラー」をご利用の場合にはスマート分電盤の設置が必要となります
 - ・幹線容量は100A以下が条件となります。
超過する場合は分電盤を分割していただく必要があります
 - ・分割された分電盤に蓄電池は作用しません。
蓄電池を接続した分電盤でのみご利用いただけます
 - ・建て得でんちプラスの場合はフリースペース(またはリミッタースペースとフリースペースの合計)2個付きが必要です
- ※2台目のパワコン用太陽光発電用ブレーカーも二次側接続ではなくスイッチBOXへの結線となるため、必ずフリースペースでのブレーカーが必要になります

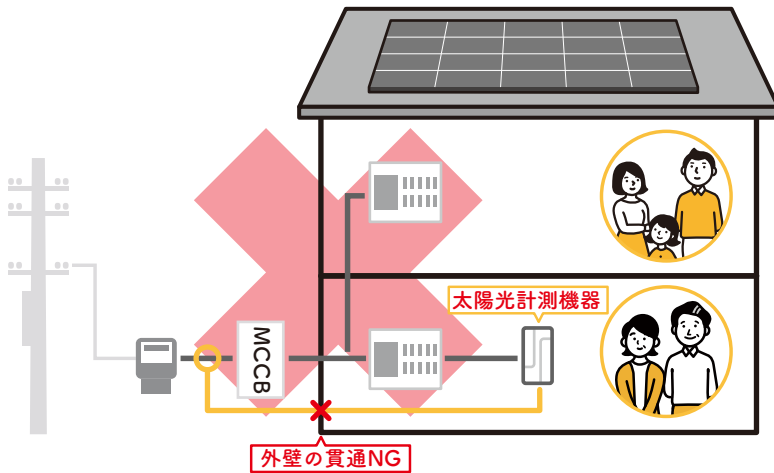
【その他】お願い・注意事項

注意：2世帯物件の契約ブレーカーについて

原則、契約ブレーカーは屋内分電盤内を推奨しています。

1契約にて2世帯の契約をご予定の場合、契約ブレーカーの設置個所にご注意ください。

NG例：屋外契約ブレーカーを設置するケース

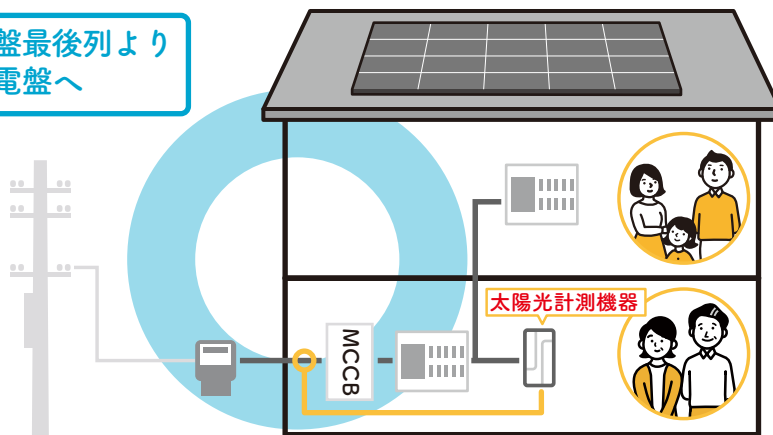


！ 〈屋外契約ブレーカ設置〉

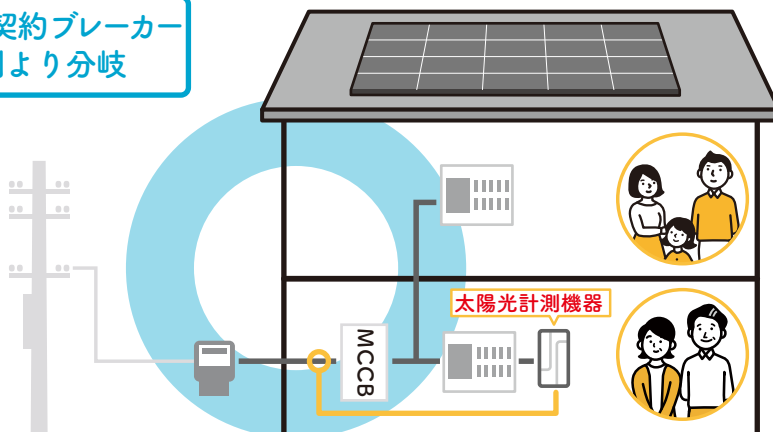
発電設備の計測CTを契約ブレーカーの1次側に設置する必要があり別途外壁部の施工が必要となります。

OK例：屋内契約ブレーカーを設置するケース

分電盤最後列より別分電盤へ



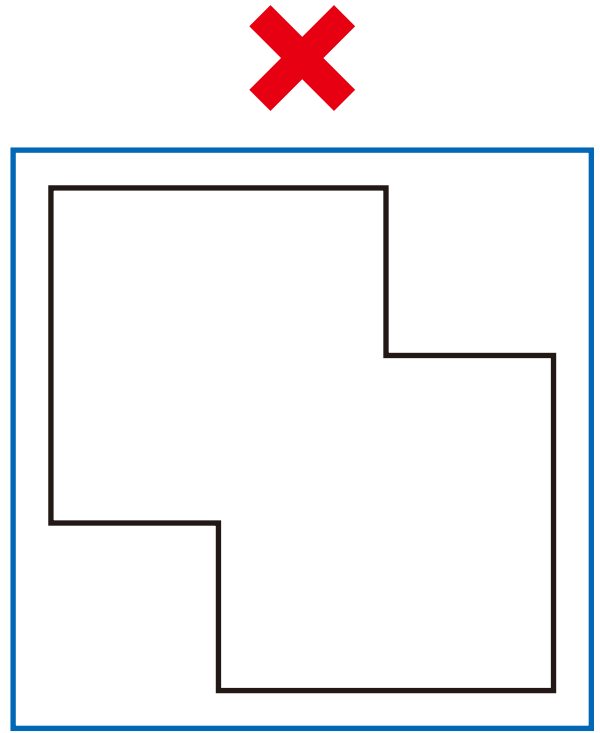
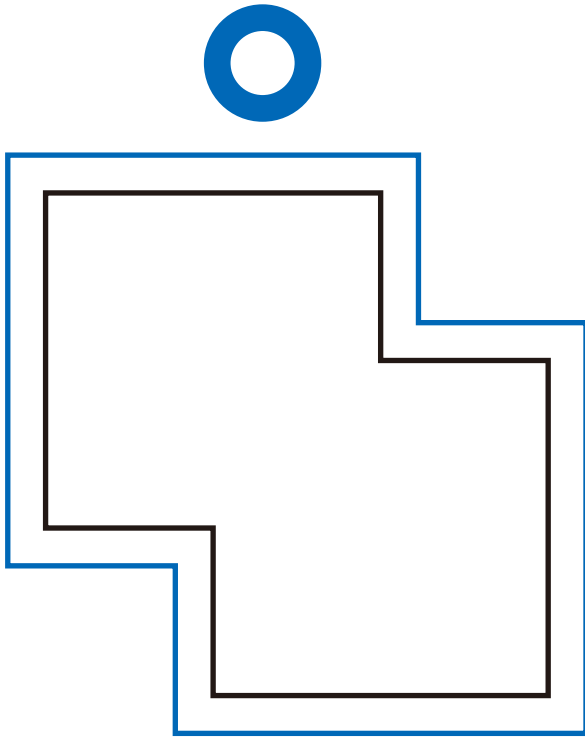
屋内契約ブレーカー2次側より分岐



どちらのパターンも更に屋外開閉器を追加可

【安全な作業を実施するために】足場設置時のご確認とお願い

足場の設置時は、皆様の大切な現場にて安全に作業を実施するため
建物の軒部に沿って足場板を設置されるようご対応願います



— 足場板

※屋根足場を設置された場合、太陽光パネルの
施工時には取外し頂くよう、お願いいたします

足場に関するガイドラインに
沿ったご対応をお願いいたします

